

# 活動プログラム ガイドブック



## 浜松市かわな野外活動センター

### 人との出会い

- ・・・ 友達の良さ、自分の良さ、協力の大切さを考えるきっかけに

### 自然との出会い

- ・・・ 五感をはたらかせ、豊かな自然に生かされている自分に気付くきっかけに

### 非日常との出会い

- ・・・ 非日常の中から生活の原点を見つめ直し、日々の平常生活を感謝しながら自分を成長させるきっかけに

令和8年4月改訂



# 活動プログラム作成のながれ

指導者の  
ねらい

子どもたちの  
興味や関心

3つの出会い  
(人・自然・非日常)

## 1 活動プログラム立案

チェック①普段は体験できない「かわな」だからできる活動ですか？  
②活動は精選され、時間にゆとりがありますか？  
③返納、片付け、清掃もひとつの活動にとらえていますか？  
※利用の手引きP16～17参照

事前打ち合わせの1週間前まで

## 2 活動プログラム原案の提出

※郵送やFAX、またはメールにて

利用予定日の約40日前まで

## 3 事前打ち合わせ(活動プログラム検討)

チェック①指導者が前面に立って参加者を導けますか？  
②指導者は、参加者数に合った人数分確保されていますか？  
③指導者の役割分担はできていますか？

## 4 活動プログラムの修正～完成

重要!

利用当日の3週間前まで

## 5 必要書類の提出①

※郵送やFAX、またはメールにて

## 6 利用当日(必要書類の提出②)

## 7 振り返り

チェック①「子どもたちの興味や関心」に寄り添い、活動意欲が高められましたか？  
②「指導者のねらい」は達成できましたか？  
③「3つの出会い(人・自然・非日常との出会い)」に触れられましたか？

※2～6の詳しいながれは、利用の手引きP.11を参照してください。

下見  
(確実に!)

ポイント

# 各活動プログラムを安全・充実させるために

## 0 下見（事前に！確実に！）

**重要!**

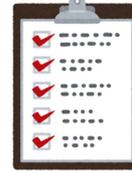
### 1 始めの会（例）

(1) 健康観察～人員点呼

(2) 安全・マナー支援 ※以下は例

- ①「グループ全員で、まとまって行動しましょう。」
- ②「車道、山道に関わらず、一列で歩きましょう。」 ※交通ルール含む
- ③「フィールドマナーを守りましょう。」
  - ごみは持ち帰りましょう。
  - 生き物（動物・植物）は大切にしましょう。
  - 立ち入り禁止の場所には入りません。
- ④「熱中症にならないために、喉が渇く前に水分をこまめに補給しましょう。」
- ⑤「アクシデントが発生したら、大人のいるポイントに引き返しましょう。」
  - 道に迷った
  - メンバーの体調不良
  - 雷・大雨

(3) やり方の説明（持ち物・装備の確認含）



### 2 各種活動



### 3 終わりの会（例）

(1) 健康観察・人員点呼

(2) 振り返り

(3) 今後に生かすアドバイス



#### オススメ！事前指導

☆グループごとに人員点呼

→例：「1!」「2!」「3!」…「〇班△人、全員集合しました!」

☆伝言作戦で情報共有

→先頭者から後続者に必要な情報を伝言していく



#### オススメ！事前準備

☆地図はラミネート処理を

→水分や汚れに強く破れません

☆地図は各グループ最低2枚を

→リーダー以外にも地図を共有することで、相談の和（輪・円）が生まれます。

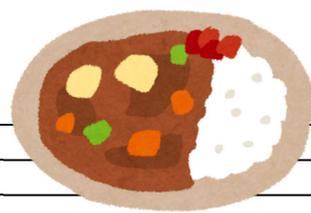


活動名	<b>入所式・退所式</b>																									
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター到着と出発のタイミングに式を行うことで、気持ちを切り替える節目やけじめを実感することができる。</li> <li>センター所長の話聞くことで、3つの出会いと危険生物と安全について、意識を高めたり振り返ったりすることができる。</li> </ul>																									
諸条件	場 所 各広場・体育室・ホール等	対 象 すべて																								
	所要時間 所長の話は約5分間	人 数 制限なし																								
	時 期 全シーズン	天 候 雨天可（荒天時は要相談）																								
	センター所員の支援 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	その他																								
準備物	センターが貸し出す物 <input type="checkbox"/> 国旗 <input type="checkbox"/> 市旗 <input type="checkbox"/> 所旗	団体（個人）が準備する物 適宜 考えられる準備物 <input type="checkbox"/> ハンドマイク <input type="checkbox"/> 団体旗 <input type="checkbox"/> ミュージックプレーヤー 等																								
活動内容（手順）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">入所式（例）</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">退所式（例）</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">所要時間</th> <th style="width: 75%;">内 容</th> <th style="width: 25%;">所要時間</th> <th style="width: 75%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">① はじめの言葉</td> <td></td> <td style="text-align: center;">① はじめの言葉</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5分間</td> <td style="text-align: center;">② 所長の話</td> <td style="text-align: center;">5分間</td> <td style="text-align: center;">② 所長の話</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">③ 連絡事項</td> <td></td> <td style="text-align: center;">③ 感想発表</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">④ 終わりの言葉</td> <td></td> <td style="text-align: center;">④ 終わりの言葉</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 式の司会進行は、団体主導で進めてください。                  ※ 上記流れは一例です。                  ※ 退所式終了後、所員がお見送りします。</p>		入所式（例）		退所式（例）		所要時間	内 容	所要時間	内 容		① はじめの言葉		① はじめの言葉	5分間	② 所長の話	5分間	② 所長の話		③ 連絡事項		③ 感想発表		④ 終わりの言葉		④ 終わりの言葉
入所式（例）		退所式（例）																								
所要時間	内 容	所要時間	内 容																							
	① はじめの言葉		① はじめの言葉																							
5分間	② 所長の話	5分間	② 所長の話																							
	③ 連絡事項		③ 感想発表																							
	④ 終わりの言葉		④ 終わりの言葉																							
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒（起立、直立の状態からの貧血、疲れによる）																									



活動名	<b>入営オリエンテーション（キャンプ場利用）</b>									
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場の利用について説明を受けることで、安全に正しくテント生活を行うことができる。</li> <li>普段の生活と比較しながら説明を受けることで、非日常的な生活から普段の生活に感謝の気持ちを抱くきっかけにすることができる。</li> </ul>									
諸条件	場 所 別館多目的ホール大 他	対 象 すべて								
	所要時間 約10～90分間	人 数 キャンプ場で宿泊する全員								
	時 期 4月～10月	天 候 制限なし								
	センター所員の支援 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	その他								
準備物	センターが貸し出す物 <input type="checkbox"/> 毛布	団体（個人）が準備する物 適宜（寝袋等）								
活動内容（手順）	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="343 996 502 1041">所要時間</th> <th data-bbox="502 996 1420 1041">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="343 1041 502 1377">10～30分</td> <td data-bbox="502 1041 1420 1377">                     常設テントを利用する場合                      ①キャンプ場の利用方法                      ②常設テントの使い方                      ③下足箱、窓、ござについて                      ④片づけの仕方                      ⑤毛布シート指導（包み方～たたみ方）                      ※寝袋を持参している場合、⑤は省略                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1377 502 1702">90分</td> <td data-bbox="502 1377 1420 1702">                     貸出組立テントを利用する場合                      ①キャンプ場の利用方法                      ②設営の仕方                      ③設営                      ④片付けの仕方                      ⑤毛布シート指導（包み方～たたみ方）                      ※寝袋を持参している場合、⑤は省略                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1702 502 1915">30分</td> <td data-bbox="502 1702 1420 1915">                     利用者持ち込みテントを利用する場合                      ①キャンプ場の利用方法                      ②設置場所の留意事項                      ③毛布シート指導（包み方～たたみ方）                      ※寝袋を持参している場合、③は省略                 </td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容	10～30分	常設テントを利用する場合 ①キャンプ場の利用方法 ②常設テントの使い方 ③下足箱、窓、ござについて ④片づけの仕方 ⑤毛布シート指導（包み方～たたみ方） ※寝袋を持参している場合、⑤は省略	90分	貸出組立テントを利用する場合 ①キャンプ場の利用方法 ②設営の仕方 ③設営 ④片付けの仕方 ⑤毛布シート指導（包み方～たたみ方） ※寝袋を持参している場合、⑤は省略	30分	利用者持ち込みテントを利用する場合 ①キャンプ場の利用方法 ②設置場所の留意事項 ③毛布シート指導（包み方～たたみ方） ※寝袋を持参している場合、③は省略
所要時間	内 容									
10～30分	常設テントを利用する場合 ①キャンプ場の利用方法 ②常設テントの使い方 ③下足箱、窓、ござについて ④片づけの仕方 ⑤毛布シート指導（包み方～たたみ方） ※寝袋を持参している場合、⑤は省略									
90分	貸出組立テントを利用する場合 ①キャンプ場の利用方法 ②設営の仕方 ③設営 ④片付けの仕方 ⑤毛布シート指導（包み方～たたみ方） ※寝袋を持参している場合、⑤は省略									
30分	利用者持ち込みテントを利用する場合 ①キャンプ場の利用方法 ②設置場所の留意事項 ③毛布シート指導（包み方～たたみ方） ※寝袋を持参している場合、③は省略									
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒（走ったり、ふざけあったりしてつまづく、ロープに引っかかる） <input type="checkbox"/> 打撲（ペグ打ちのとき、金づちで手を打ち付ける）									

活動名	炊飯活動 ワイルドカレー													
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>野外で調理することの楽しさと、作り上げる達成感を味わうことができる。</li> <li>グループで協力して活動することの楽しさを感じたり、意義を学んだりすることができる。</li> </ul>													
諸条件	場 所 炊飯棟ABCDEFGF (各炊飯棟かまど9カ所)	対 象 小学生高学年以上												
	所要時間 3時間～4時間 (昼食、夕食のみ)	人 数 各炊飯棟ごと約40人まで 1グループ6～7人が適当 (6グループ以下が適当)												
	時 期 全シーズン	天 候 雨天可 (荒天時は要相談)												
	センター所員の支援 (有) ・ 無 ※支援の内容についての軽重、相談可	その他 炊飯活動終了後に「返納点検」を実施 ※夕食実施時は翌日												
準備物	センターが貸し出す物 (各班) ・炊飯セット (1セット=8人分) しゃもじ×1、おたま ×1 ざる ×1、ボール ×1 湯のみ ×8、カレー皿×8 コップ (なべ大小) ×各1 スプーン×8 ・まな板×2 ・包丁×2 ・菜箸×1 ・たわし ・なた×1 ・スポンジ×2 等	団体 (個人) が準備する物 ・個人 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ふきん (1枚) ・班 <input type="checkbox"/> 新聞 (朝刊1冊程度) <input type="checkbox"/> ピーラー (必要に応じて) ・炊飯棟ごと <input type="checkbox"/> 食器洗い用洗剤 (液体中性洗剤) <input type="checkbox"/> コップ・鍋洗い用洗剤 (液体クレンザー シフなど)												
活動内容 (手順)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">所要時間</th> <th style="width:85%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30分</td> <td>炊飯オリエンテーション  <input type="checkbox"/> 全体の流れ (所員と指導者との打合せを含む)  <input type="checkbox"/> 炊飯棟内外の使い方  <input type="checkbox"/> 薪割りの仕方  <input type="checkbox"/> 火のおこし方  <input type="checkbox"/> 炊飯の仕方                             </td> </tr> <tr> <td>90分</td> <td>薪割り～火おこし～調理</td> </tr> <tr> <td>25分</td> <td>食事</td> </tr> <tr> <td>30分</td> <td>片づけ  <input type="checkbox"/> 食器・調理器具、コップ等を洗う  <input type="checkbox"/> 灰を缶の中に片付け、灰缶内の灰を水に浸す  <input type="checkbox"/> 炊飯棟内外を清掃する  <input type="checkbox"/> 炊飯セットをコンテナにしまう                             </td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>ふりかえり</td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容	30分	炊飯オリエンテーション <input type="checkbox"/> 全体の流れ (所員と指導者との打合せを含む) <input type="checkbox"/> 炊飯棟内外の使い方 <input type="checkbox"/> 薪割りの仕方 <input type="checkbox"/> 火のおこし方 <input type="checkbox"/> 炊飯の仕方	90分	薪割り～火おこし～調理	25分	食事	30分	片づけ <input type="checkbox"/> 食器・調理器具、コップ等を洗う <input type="checkbox"/> 灰を缶の中に片付け、灰缶内の灰を水に浸す <input type="checkbox"/> 炊飯棟内外を清掃する <input type="checkbox"/> 炊飯セットをコンテナにしまう	5分	ふりかえり
所要時間	内 容													
30分	炊飯オリエンテーション <input type="checkbox"/> 全体の流れ (所員と指導者との打合せを含む) <input type="checkbox"/> 炊飯棟内外の使い方 <input type="checkbox"/> 薪割りの仕方 <input type="checkbox"/> 火のおこし方 <input type="checkbox"/> 炊飯の仕方													
90分	薪割り～火おこし～調理													
25分	食事													
30分	片づけ <input type="checkbox"/> 食器・調理器具、コップ等を洗う <input type="checkbox"/> 灰を缶の中に片付け、灰缶内の灰を水に浸す <input type="checkbox"/> 炊飯棟内外を清掃する <input type="checkbox"/> 炊飯セットをコンテナにしまう													
5分	ふりかえり													
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 手、指を切る：包丁で食材を切るとき、薪をなたで割るとき <input type="checkbox"/> やけど：なべ (コップ) を持つ、薪をくべる、衣服に火が燃え移る <input type="checkbox"/> 転倒：走ったり、ふざけたりしてつまづく <input type="checkbox"/> 腹痛：生煮え、食べ過ぎ													



# 炊飯棟の使い方と注意事項

## 炊飯棟の使い方

### 1 かまど

番号のかまどを使う。



### 2 調理台

- 炊飯棟の両側にかかっている台ふきできれいにふいて使う。
- 机の上を整とんする。
- 雨天時は所員の指示で炊飯棟内に荷物を置く。

### 3 流し

流しを使い分ける。

- 「なべ」  
⇒炊飯棟左右の流しで!
- 「なべ以外のもの」  
⇒入口の流しで!

### 4 なべ敷き (=新聞紙)

火にかけたなべを置くときに必ず使う。(右写真)  
※テーブルの上に直接置くとすすだらけになってしまうので注意する!



### 5 ごみ

- 「生ごみ」と「それ以外のごみ (プラ・ビニール・紙など)」を分ける。
- 新聞紙は「新聞紙入れ」にたたんで入れる。
- 持ち帰るごみは、ゴミ袋を団体で用意する。

## 注意事項

※「なべ」は、「コップェル」とも言います。

### 1 0-157・ノロウイルス・新型コロナウイルス対策

- 熱湯消毒をします。☞「食器」「包丁」「まな板」「スプーン」等
- 手洗いをしっかり! ☞手洗い用せっけんが用意されています。
- 包丁とまな板の使い分け☞野菜用に使うこと! 生肉には使用しません!

### 2 やけどをしないために

- 軍手をはめる。
- なべのつるを持たない。
- なべのふたは、火ばさみを使って開ける。

### 【なべの持ち方】



### 【ふたの開け方】



### 3 安全な「なた」の使い方

- なたを持つ手は素手にする。
- なたを絶対に振り下ろさない!
- かまどの方を向いてまきを割る!
- かまど回りの整理整とんを心がける!  
(まきの整理)

### 【まきの割り方】



①なたの刃(手前側)をまきのかどにななめに当てる。

まきを持つ!(軍手)

まきを  
持たない!

②そのまま「なた」と「まき」を一緒に、軽く数回、台に当てて、刃をまきにくいこませる。

③両手(または利き手)で、まきを割る。  
(「節」がある場合など、無理をしない。)

# コツフェル(鉄なべ)で炊く ごはん

## 1 米をとぐ



米を「なべ(大)」に入れて、手で優しくかき混ぜるようにして米を洗う。水をこぼして取りかえる。これを2、3回くり返す。

※「なべ」は、「コツフェル」とも言います。

## 2 水を入れる



平らにした米の上に、手のひらを軽くのせ、手の甲が水にかくれるぐらいまで水を入れる。

**重要**

必ず、水の量を先生や所員さんに確かめてもらおう。

## 3 炊く①



強火で炊く。

炎はなべの底に当たるぐらいでOK!

強すぎるとこげてしまうよ。

## 4 炊く②



火にかけて5分~10分でふたの横から煮汁が出てくる。

煮汁が出てこなくなる前にふたを開けてごはんの様子を見る。

## 5 確かめる



ポツポツと穴があいていたからOK。

水が残っていたらふたをして1~2分弱火にかける。

そして、またふたを開けて確かめる。

## 6 むらす



火からおろしてかまどの横に置いてむらす。むらしてからは、ふたを開けない!



できあがり!

**重要**

何回ふたを開けて確かめても大丈夫!

自分たちの目で確かめよう!

# かわな流 ワイルドカレー の作り方

1 野菜を切る



野菜を適当な大きさに切る。(肉は切らずにほぐし、野菜の上に、そのまま入れる。)

じゃがいもやにんじんは、うすく切る(1cmぐらい)と火が通りやすくなるよ。

2 材料と水を入れる



材料をすべてなべ(小)に入れる。(野菜の上に肉)  
材料と同じくらいの高さまで水を入れる。

カレールーは、絶対入れないで。最後に!

油でいためません!!

3 火にかける



強火で煮る。

湯気が出てから10分ぐらい煮込もう。

4 じゃがいもを確かめる



じゃがいもにはしがるまで煮込む。おたまですくって確かめる。

食べてみるとやわらかさがよく分かります。(やけどに注意してね!)

5 カレールーを入れる



水加減に注意!

カレールーを入れてよくかき混ぜる。

**重要**

危ないので、なべは、いったん火の外側に移動します。

その後、袋を**はさみ**で切ってから、ルーをなべに入れ、かき混ぜましょう。

6 仕上げ

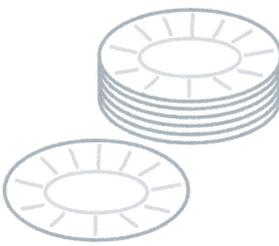


とろみがでたらできあがり。

煮込みすぎない! こげてしまいます。



ワイルドカレー

<p>活動名</p>	<h2 style="text-align: center;">返納点検</h2>										
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「借りたもの」を大切に扱うことで、感謝の気持ちと責任感を高めることができる。</li> <li>前回と次のそれぞれの団体を意識することで、「来た時と同じ状態にする」大切さを学ぶことができる。</li> </ul>										
<p>諸条件</p>	<p>場 所 炊飯棟ABCDEFGG (各炊飯棟かまど9カ所)</p>	<p>対 象 小学生高学年以上</p>									
	<p>所要時間 60分間程度</p>	<p>人 数 原則全員参加</p>									
	<p>時 期 全シーズン</p>	<p>天 候 雨天可 (荒天時は要相談)</p>									
	<p>センター所員の支援 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>	<p>その他 炊飯活動終了後に実施 ※夕食実施時は翌日</p>									
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物 無し</p> 	<p>団体 (個人) が準備する物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ふきん (1枚)</li> </ul> </li> <li>班 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> メラミンフォーム (激落ちくん)</li> </ul> </li> <li>炊飯棟ごと <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 食器洗い用洗剤 (液体中性洗剤)</li> <li><input type="checkbox"/> なべ (コッフェル) 洗い用洗剤 (液体クレンザー、シフなど)</li> </ul> </li> </ul>									
<p>活動内容 (手順)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">所要時間</th> <th style="width: 85%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5分</td> <td>返納点検オリエンテーション <input type="checkbox"/> 全体の流れ <input type="checkbox"/> 役割分担の仕方 <input type="checkbox"/> ふきん、メラミンフォームの使い方</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25～50分</td> <td>返納点検～あいさつ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5分</td> <td>ふりかえり</td> </tr> </tbody> </table>			所要時間	内 容	5分	返納点検オリエンテーション <input type="checkbox"/> 全体の流れ <input type="checkbox"/> 役割分担の仕方 <input type="checkbox"/> ふきん、メラミンフォームの使い方	25～50分	返納点検～あいさつ	5分	ふりかえり
所要時間	内 容										
5分	返納点検オリエンテーション <input type="checkbox"/> 全体の流れ <input type="checkbox"/> 役割分担の仕方 <input type="checkbox"/> ふきん、メラミンフォームの使い方										
25～50分	返納点検～あいさつ										
5分	ふりかえり										
<p>想定されるリスク</p>	<p><input type="checkbox"/> 転倒 (急いで走ったり、ふざけたりしてつまづく)</p>										

# かたづけのコツと返納について

## かたづけのコツ

1 なべを水につけておく。  
全部もりつけた後、流し場に水をためてなべ全体を水中に入れる。→よごれが落ちやすくなる。

2 手分けして洗う

「なべ」

外側・・・ナイロンたわし (A) とクレンザーでみがき、すすを落とす。

内側・・・亀の子たわし (B) でみがく。

※こげた場合は、ステンレスたわし (C) を使う。B

「なべ以外」

⇒スポンジと食器用洗剤で洗う！

※食器にすすがついた場合は、クレンザーでこする。

A



C



3 かまどや調理台の片付け

- 燃え残りのまきは、1か所に集めて燃やしきる。(所員)
- 灰は缶に入れ、水をかけておく。水は入れ過ぎず、灰が浸る程度で十分。
- 調理台の上を整頓し、台ふきできれいにする。
- 返納が翌日の場合は、食器等の水気を取り、数を確認して、コンテナに収納する。(写真1) また、炊具セットに新聞をかけておく。(ほこり等がつくのを防ぐため) 風で飛ばないように注意する。

4 炊飯活動責任者の点検

「かまど」

「調理台」

「ごみ入れ・灰の缶」

を点検してください。

※指導者に点検表を渡します。

写真1：翌日返納の場合のコンテナ



## 返納について

写真2：返納点検時の準備



コンテナの中身

かご なべ (大) なべ (小)  
カレー皿×8 湯飲み×8  
スプーン×8 ボール ざる  
おたま しゃもじ マニュアル

事前準備 (班ごと)

- ①一人1枚ふきん (古タオル) を用意しておく。
- ②班でいくつかメラミンフォーム (激落ちくん) を持っているといい。
- ③テーブルの上、コンテナの中をふいておく。
- ④炊具セットの中のものすべて出して、テーブルの上にならべてかわかしておく。※スポンジも (写真2)

①注 やり直しが多いよごれ

なべ (コッフェル)・底のかどにあたるどころのご飯のぬめり

- ・カレールーの色やぬめり
- ・ふたのふち・つるの先のよごれ

食器 ・すすのよごれ (指もんのあと)

水でぬらさずに、乾いたメラミンフォーム (激落ちくん) で、消しゴムのようにこすると、とてもきれいになります！

所員が「数」「よごれ」を点検しながら、コンテナにおさめていきます。

点検が終わった炊具セットを山荘に運んで終了です。



活動名	<b>ハイキング・冒険トレッキング</b>											
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められたコースを登り切ったり、歩き通したりすることで、達成感を味わったり、自信につながったりすることができる。</li> <li>仲間と励まし合いながら登ったり、歩いたりすることで、仲間意識を深めたり、協調性を育んだりすることができる。</li> <li>霧山を背にいなさ湖に臨んでいる自然豊かなコースを歩くことで、雄大な四季折々の自然を体感することができる。</li> </ul>											
諸条件	場 所	センター場内～周辺	対 象	すべて								
	所要時間	P30～33参照	人 数	制限なし								
	時 期	全シーズン	天 候	荒天不可・雨天相談								
	センター所員の支援	有 ・ <b>無</b>	その他	資料をホームページよりダウンロード								
準備物	センターが貸し出す物 無線機（親機）×1台 無線機（子機）×14台 ※各上限		団体（個人）が準備する物 <input type="checkbox"/> 地図（ラミネート処理を推奨） <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 登山装備（雨具・防寒具等） <input type="checkbox"/> 水分 等									
活動内容（手順）	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%; text-align: center;">所要時間:</td> <td style="text-align: center;">内 容</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10分</td> <td>始めの会（P2参照）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 10px;">                     ※P13「ハイキング おすすめポイント」やP30～33「ウォークラリー」のコースを参考にして歩くコースを設定する。                      ※P24、P25「冒険トレッキング」を参考に、「ウォークラリー」のコースを使い独自の冒険トレッキングを実施する。                      ※「ウォークラリー」で決められたコース以外を使い、団体やグループで独自に設定してもよい。                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10分</td> <td>終わりの会（P2参照）</td> </tr> </table>				所要時間:	内 容	10分	始めの会（P2参照）	※P13「ハイキング おすすめポイント」やP30～33「ウォークラリー」のコースを参考にして歩くコースを設定する。 ※P24、P25「冒険トレッキング」を参考に、「ウォークラリー」のコースを使い独自の冒険トレッキングを実施する。 ※「ウォークラリー」で決められたコース以外を使い、団体やグループで独自に設定してもよい。		10分	終わりの会（P2参照）
所要時間:	内 容											
10分	始めの会（P2参照）											
※P13「ハイキング おすすめポイント」やP30～33「ウォークラリー」のコースを参考にして歩くコースを設定する。 ※P24、P25「冒険トレッキング」を参考に、「ウォークラリー」のコースを使い独自の冒険トレッキングを実施する。 ※「ウォークラリー」で決められたコース以外を使い、団体やグループで独自に設定してもよい。												
10分	終わりの会（P2参照）											
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 天候の悪化による事故（落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等） <input type="checkbox"/> 疲労による事故（熱中症含む） <input type="checkbox"/> 山の環境による事故（転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等） <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）											

## おすすめポイント ※ルートはP30~33「ウォークラリー」参照

### 霧山山頂

春秋の朝夕は深い霧につつまれることがあることから霧山と呼ばれます。ここでは、標高430mから望むかわな最大の絶景を楽しむことができます。南西方向にはきらきらと輝く奥浜名湖の湖面が、さらに遠くにはうっすらと太平洋が見えます。反対側の東方向には観音山、そして晴れた日には富士山が見えます！

### 浦山展望台

生い茂った木々の中を少し汗ばみながら登って行くと、急に視界が開けて絶景が飛び込んできます。山頂からの景色に勝るとも劣らない東側の絶景は、疲れを一気に吹き飛ばします！幼児や低学年向けのハイキング、霧山山頂までの休憩ポイントにおすすめです。

### 見下ろし岩

場内の施設を一望できる唯一の場所です。本館はもちろん、FG炊飯棟、宿泊棟、天体観測棟などが見え、本館周りで活動している人の姿や声も感じることができます。遠くには滝沢山から三岳山に並ぶ風車の数々も見ることができます。

### いなさ湖西側道路・公園（遊歩道）

いなさ湖の湖岸道路では、いなさ湖や観音山などを眺めながら歩くことができます。湖畔の遊歩道では、水際の散歩を楽しんだり、東（あずま）屋などで休憩したりすることができます。トイレもあるので安心です。四季折々の自然の美しさをぜひ感じてください。

### 都田川ダム

このダムは、洪水防止、かんがい用水や水道用水の水源確保の目的で、昭和61年度（1986年度）に完成したロックフィルダムです。都田川をせき止めたことによってできたダム湖が「いなさ湖」と名付けられています。ダムの上から眺める霧山、観音山、いなさ湖もまた格別です。

### 川名地区

霧山と三岳山の間にある引佐町川名は、昔ながらの里山の風景が広がり、伊豆神社や井伊直平のお墓など、数多くの史跡が残っている地域です。毎年1月4日に行われる祭り『川名ひよんどり』は、国指定の重要無形民俗文化財にも指定されています。（※活動プログラムP74・75参照）

### 滝沢展望台

感動的な絶景を見ることができる標高約350mの展望台です。アクトタワーや浜松市街地を一望できるのはもちろん、遠くは遠州灘、天竜川、浜名湖、磐田原台地も見渡す事ができます。

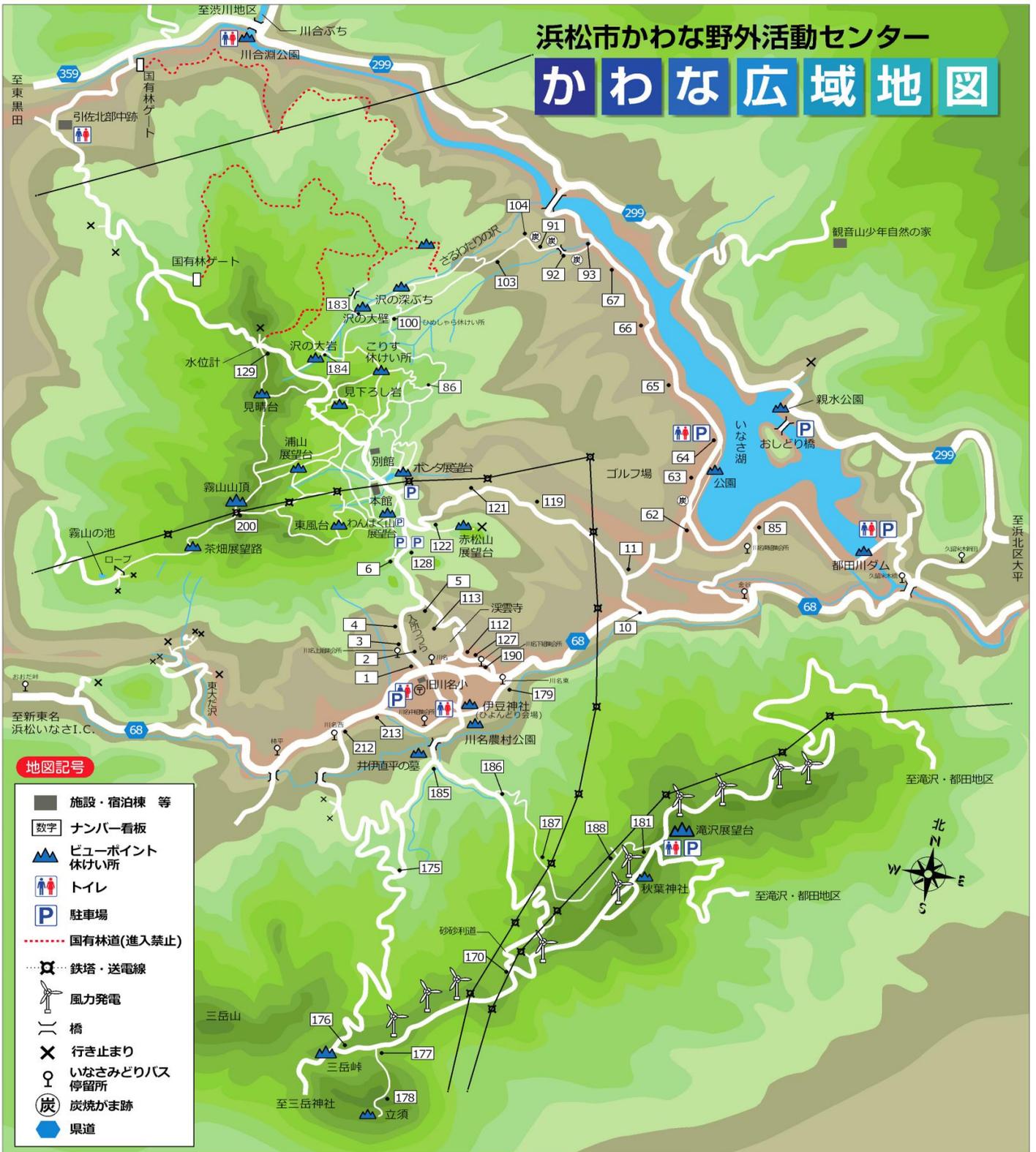
### その他

- わんぱく山展望台…自然木と松いす、ガーデンテーブルのある憩いの広場です。
- ポインタ展望台 …本館から最も近い展望台です。ここから見る日の出は最高です。
- 東風台 …いなさ湖、都田川ダムを見ることができます。



# 浜松市かわな野外活動センター

## かわな広域地図

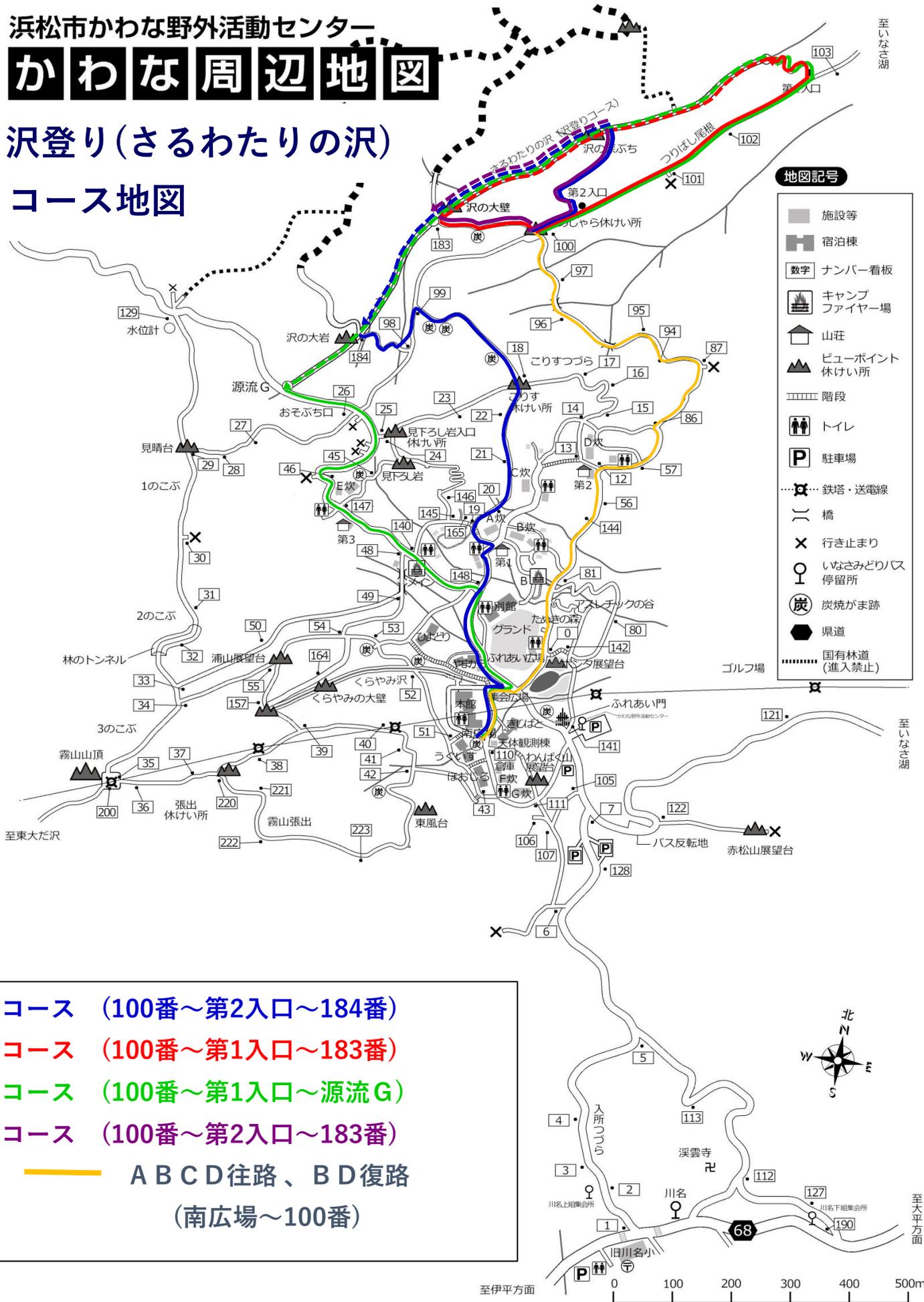


<p>活動名</p>	<h1>沢登り (さるわたりの沢)</h1>																																		
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林内での沢登りを通して、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深めるきっかけにすることができる。 (森林環境教育の導入として)</li> <li>沢の水の冷たさを感じながら、沢を安全に登り切ることで、達成感を味わったり、自信につながったりすることができる。</li> <li>仲間と励まし合いながら登ることで、仲間意識を深めたり、協調性を育んだりすることができる。</li> <li>サワガニやホトケドジョウなどを観察することで、清らかな水に育まれる生き物のたくましさや素晴らしさを体感することができる。</li> </ul>																																		
<p>諸条件</p>	<p>場 所 集合場所…南広場</p>	<p>対 象 小学生高学年から</p>																																	
	<p>所要時間 1時間45分～4時間30分</p>	<p>人 数 制限なし</p>																																	
	<p>時 期 全シーズン ※冬はお勧めしません</p>	<p>天 候 荒天不可・雨天相談</p>																																	
	<p>センター所員の支援 (有) ・ 無</p>	<p>その他 資料をホームページよりダウンロード可</p>																																	
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ヘルメット小 ×150</li> <li><input type="checkbox"/> ヘルメット大 ×40</li> <li><input type="checkbox"/> ライフジャケット小 ×200</li> <li><input type="checkbox"/> ライフジャケット大 ×90</li> <li><input type="checkbox"/> 指導者用マフ ※各上限</li> </ul>	<p>団体(個人)が準備する物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 救急用品</li> <li><input type="checkbox"/> 登山装備(防寒具等)</li> <li>(<input type="checkbox"/> 水筒を持っていく場合…濡れてもよいナップサックなど)</li> <li><input type="checkbox"/> ヘルメット(持参を推奨)</li> <li>※P.21参照</li> </ul>																																	
<p>活動内容(手順)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th colspan="2">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20分</td> <td colspan="2">                     トイレを事前に済ませておく                      装着説明(所員主導)                      ①荷物の確認～着替えの説明                      ②ライフジャケット(ヘルメット)の受け取り                      ※準備説明の裏側で、指導者と所員の最終打ち合わせ  <input type="checkbox"/> コースの確認 <input type="checkbox"/> 特別対応者の有無  <input type="checkbox"/> 人員点呼～健康観察のタイミングと場所 など                 </td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td colspan="2">                     出発式(所員主導)                      ①人員点呼～健康観察                      ②森林環境教育について                      ③沢登りの約束(服装と装備の確認)                 </td> </tr> <tr> <td>通常選択</td> <td>A 100～第2入口～184</td> <td>約2時間30分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 100～第1入口～183</td> <td>約3時間30分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 100～第1入口～源流ゴール</td> <td>約4時間30分</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>D 100～第2入口～183</td> <td>約2時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E 100～183～源流ゴール</td> <td>約1時間45分</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">※時間は実際に歩く時間です</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td colspan="2">                     返却説明(所員主導) ※指導者のサポートが必要です  <input type="checkbox"/> ヘルメット返却～ライフジャケット返却                 </td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td colspan="2">                     到着式(所員主導) ※到着式をやらない場合もあります。                      ①人員点呼～健康観察                      ②着替えについて                      ③あいさつ                 </td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容		20分	トイレを事前に済ませておく 装着説明(所員主導) ①荷物の確認～着替えの説明 ②ライフジャケット(ヘルメット)の受け取り ※準備説明の裏側で、指導者と所員の最終打ち合わせ <input type="checkbox"/> コースの確認 <input type="checkbox"/> 特別対応者の有無 <input type="checkbox"/> 人員点呼～健康観察のタイミングと場所 など		10分	出発式(所員主導) ①人員点呼～健康観察 ②森林環境教育について ③沢登りの約束(服装と装備の確認)		通常選択	A 100～第2入口～184	約2時間30分		B 100～第1入口～183	約3時間30分		C 100～第1入口～源流ゴール	約4時間30分	その他	D 100～第2入口～183	約2時間		E 100～183～源流ゴール	約1時間45分	※時間は実際に歩く時間です			10分	返却説明(所員主導) ※指導者のサポートが必要です <input type="checkbox"/> ヘルメット返却～ライフジャケット返却		5分	到着式(所員主導) ※到着式をやらない場合もあります。 ①人員点呼～健康観察 ②着替えについて ③あいさつ	
所要時間	内 容																																		
20分	トイレを事前に済ませておく 装着説明(所員主導) ①荷物の確認～着替えの説明 ②ライフジャケット(ヘルメット)の受け取り ※準備説明の裏側で、指導者と所員の最終打ち合わせ <input type="checkbox"/> コースの確認 <input type="checkbox"/> 特別対応者の有無 <input type="checkbox"/> 人員点呼～健康観察のタイミングと場所 など																																		
10分	出発式(所員主導) ①人員点呼～健康観察 ②森林環境教育について ③沢登りの約束(服装と装備の確認)																																		
通常選択	A 100～第2入口～184	約2時間30分																																	
	B 100～第1入口～183	約3時間30分																																	
	C 100～第1入口～源流ゴール	約4時間30分																																	
その他	D 100～第2入口～183	約2時間																																	
	E 100～183～源流ゴール	約1時間45分																																	
※時間は実際に歩く時間です																																			
10分	返却説明(所員主導) ※指導者のサポートが必要です <input type="checkbox"/> ヘルメット返却～ライフジャケット返却																																		
5分	到着式(所員主導) ※到着式をやらない場合もあります。 ①人員点呼～健康観察 ②着替えについて ③あいさつ																																		
<p>想定されるリスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 天候の悪化による事故(落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等)</li> <li><input type="checkbox"/> 疲労による事故(熱中症含む)</li> <li><input type="checkbox"/> 山の環境による事故(転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等)</li> <li><input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故(ふざけての事故等)</li> </ul>																																		

# かわな周辺地図

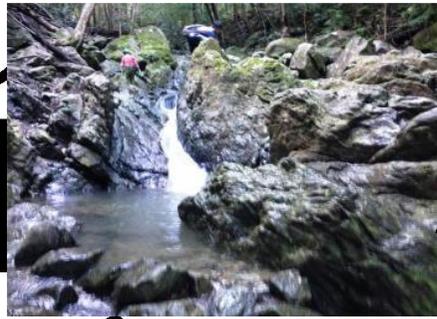
## 沢登り(さるわたりの沢)

### コース地図



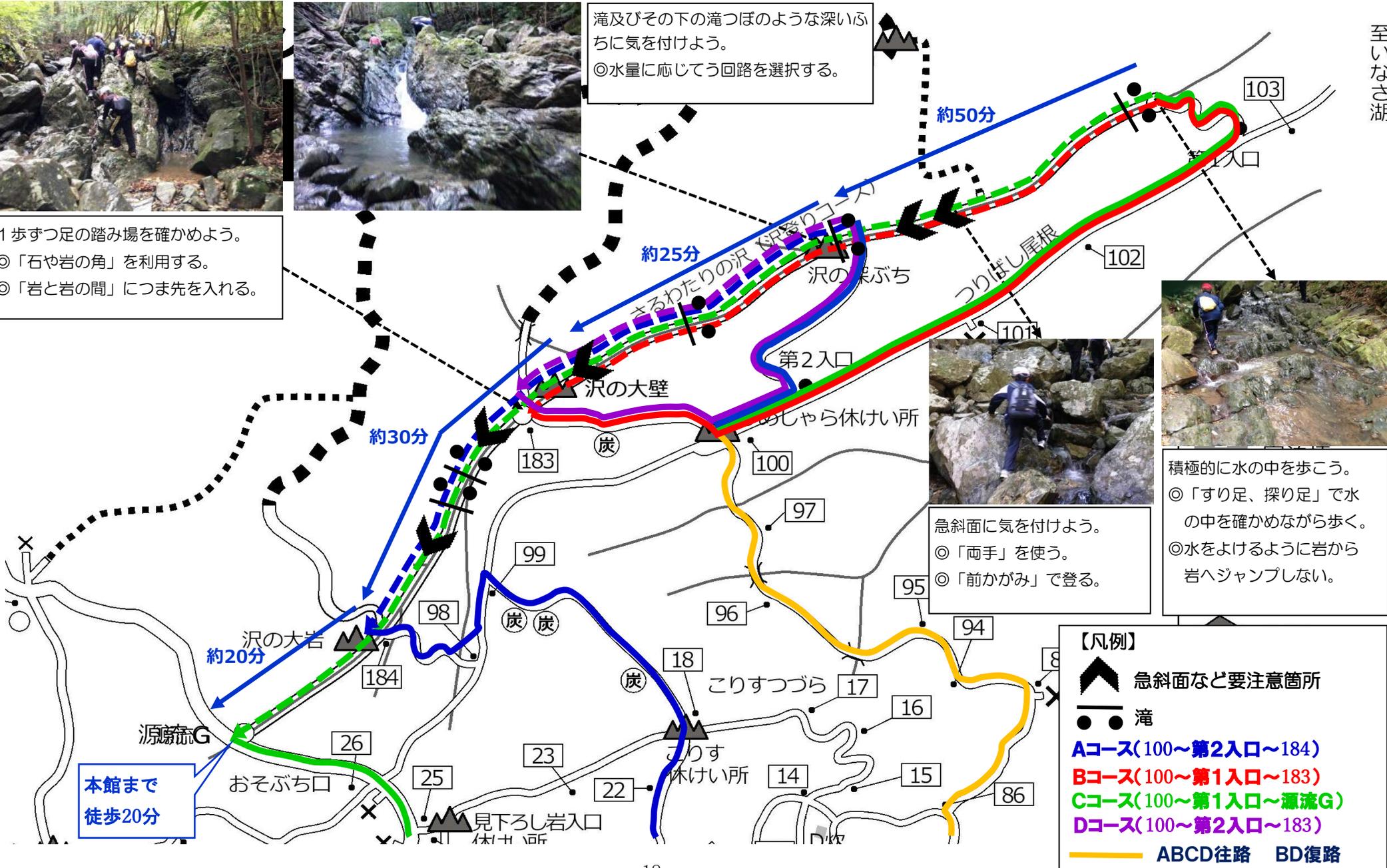
- Aコース (100番～第2入口～184番)**
- Bコース (100番～第1入口～183番)**
- Cコース (100番～第1入口～源流G)**
- Dコース (100番～第2入口～183番)**
- ※ **—— A B C D往路、B D復路 (南広場～100番)**

# 沢登りコース 危険箇所マップ



滝及びその下の滝つぼのような深いふちに気を付けよう。  
◎水量に応じて回路を選択する。

1 歩ずつ足の踏み場を確かめよう。  
◎「石や岩の角」を利用する。  
◎「岩と岩の間」につま先を入れる。



至いなさ湖



急斜面に気を付けよう。  
◎「両手」を使う。  
◎「前かがみ」で登る。



積極的に水の中を歩こう。  
◎「すり足、探り足」で水の中を確かめながら歩く。  
◎水をよけるように岩から岩へジャンプしない。

**【凡例】**

- 急斜面など要注意箇所
- 滝
- 滝
- Aコース(100~第2入口~184)**
- Bコース(100~第1入口~183)**
- Cコース(100~第1入口~源流G)**
- Dコース(100~第2入口~183)**
- ABCD往路 BD復路**

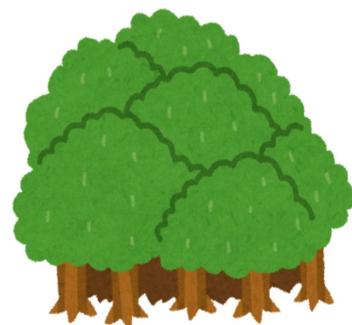
# 【沢登りを実施する指導者へ】

## 1 森林環境教育

当センターは沢登りを通して「森林環境教育」に取り組んでいます。特に、沢登りコースの一部は国有林野内に位置し、水源かん養林として保安、整備されており、自然豊かな美しい森が広がっています。さらに上流部では、水源を確認することもできます。

この価値ある教育資源を生かし、発達段階に応じた森林環境教育の場を、沢登りを通して提供します。

- (1) ねらい（森林環境教育を通して）
- 子どもたちの「生きる力」を伸ばしたい。
  - 「人と森林との関係」などについて実感をもって理解させたい。
- (2) ねらいに迫るヒント…森林のもつ多面的な機能（8つ）の実感
- 生物多様性機能（多種多様な動植物の生態系）
  - 地球環境保全機能（CO<sub>2</sub>削減、温暖化防止）
  - 土壌保全、土砂災害防止機能
  - 水源かん養機能（雨水の保持）
  - 快適環境形成機能（気温調整や防音）
  - 保健、レクリエーション機能（森林浴やハイキング）
  - 分化、教育機能（伝統文化や学びの場）
  - 物質生産機能（木材やきのこなど山の産物）



## 2 沢登りの約束

出発式に、所員が以下の約束を伝えます。指導者はしおりへ掲載したり伝達したりする事前指導をお願いします。

- (1) 森林環境教育を意識して…
- ・ 生き物を観察します！
  - ・ 沢の水の流れを観察します！
- (2) 装備・持ち物について
- ・ 肌は露出しません！（長袖・長ズボン・軍手・ひも靴）
  - ・ 荷物を背負い、両手は空けます！
  - ・ ヘルメットとライフジャケットは確実に装着します！
- (3) 登り方について
- ・ 走ったり、ジャンプしたりしません！
  - ・ 無理せず、戻らず、下らない！安全なルートで

## 3 列の配置と留意点、及び人員点呼

(1) 列の配置の例（■所員 ●指導者） ※無線を所持した所員が帯同します。

←先頭 ■ 集団1 ● 集団2 ● 集団3 ● ■ (最後尾)

※配慮を要する参加者がいる場合などの対応や指導者の配置については、所員に相談し、帯同する所員と指導者とで、確実に共通理解をお願いします。

※「沢登りA・B・Cコース」の途中（沢の入口に向かう際の林道）で、列の間が空いて迷った場合は、確実に所員を待ち、確認をしてください。

(2) 人員点呼～健康観察のタイミング（最低3回）

- ① 出発式
- ② 沢登りゴール地点
- ③ 到着式

## 4 ライフジャケットとヘルメットの脱着時の指導者の動き

	指導者	参加者
1 出発前	①トイレを確実に済ませてください。②南広場に集合・整列してください。	
2 装着説明	<p>①所員と最終打合せを行います。 □ 参加者の人数確認 □ ルートと人員点呼のタイミング</p> <p>□ 隊列</p> <p>□ その他留意点</p> <p>②指導者自身がヘルメットとライフジャケットを装着してください。</p> <p>③終わり次第、参加者への装着支援に協力してください</p>	<p>①ライフジャケットを所員から受け取り、ハンガーを所員に返します。</p> <p>②ライフジャケットを装着した後、ヘルメットを受け取ります。</p> <p>※指導者はあごひも調整を支援してください。</p> <p>※ヘルメット持参であれば、10分以上時間を短縮できます！</p> <p>③軍手を忘れた参加者は、このタイミングで借りてください。</p>
	 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ライフジャケットを受け取る動きは、当日所員が説明します。</p> </div>
3 返却説明	<p>①ヘルメットの回収を支援してください。</p> <p>□ 物干し竿にヘルメットをかけさせてください。</p> <p>□ あごの留め具をはめてください。</p> <p>②ライフジャケットの回収を支援してください。</p> <p>□ ライフジャケットは裏返しにし、ハンガーに掛けさせてください。</p> <p>□ ハンガーに貼ってある水色のシール（矢印部分）が見えるように掛けさせてください。</p> <p>③すべて返却した参加者たちを、整列させ、人員点呼に備えてください。</p>	<p>①ヘルメットを返却します。</p> <p>②ライフジャケットを返却します。</p> <p>③借りた軍手を返却します。</p> <p>④集合・整列します。</p>
		

# 沢登り 服装

ポイント：安全に活動するため、肌を露出しない！

- 1 頭：赤白帽子とヘルメット  
 ※帽子は汗を吸収するため着用  
 ※ヘルメットを持参する団体は帽子は自由
- 2 上半身：長袖・リブシャツ
- 3 手：軍手  
 ※沢登り中はもちろん、往路も復路も着用する。
- 4 下半身：長ズボン  
 ×ハーフパンツ、七分丈
- 5 足：靴下必ずはく  
 ×短い靴下  
 靴（下表を参考に）
- 6 その他：水筒持参の場合  
 ◎濡れても良いナップサックに水筒を入れて歩く。  
 ×手で持って歩く。



種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動靴</li> <li>普段はいている靴</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山靴</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーターシューズ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>上履き</li> <li>古靴</li> <li>底がツルツルの靴</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンダル</li> <li>ぞうり</li> </ul> 
安全性	○	○	△	×	×
特徴	底が厚く動きやすい。慣れている。	底が厚く動きやすい。滑りにくい。	底、生地が薄いため痛く、破れる可能性有り。	滑りやすい。底がツルツルは絶対にだめ。	直接肌が出てしまうため、認められない。

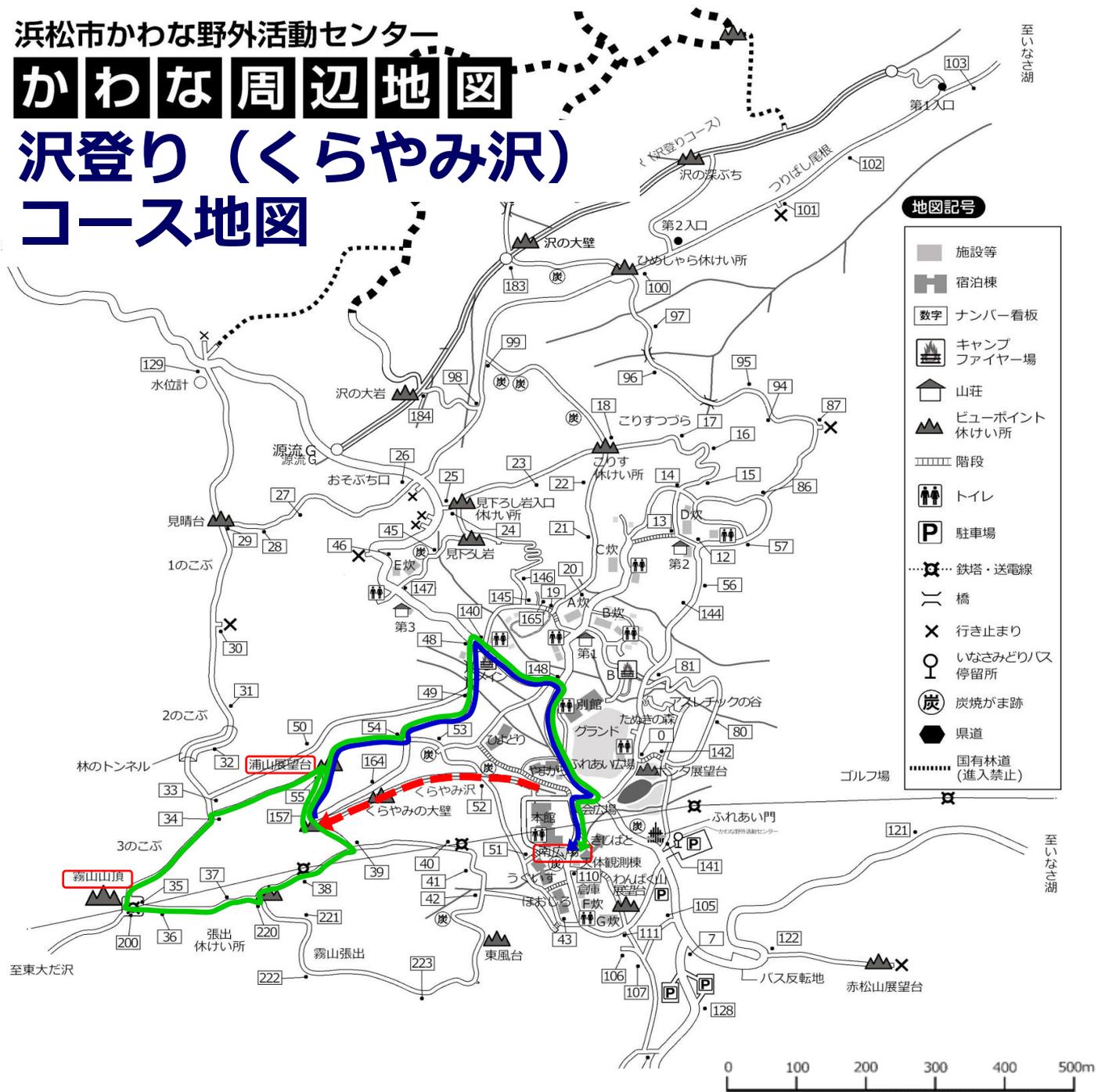
<p>活動名</p>	<p><b>沢登り (くらやみ沢)</b></p>													
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沢の水の冷たさを感じながら、沢を安全に登り切ることで、達成感を味わったり、自信につながったりすることができる。</li> <li>・ 仲間と励まし合いながら登ることで、仲間意識を深めたり、協調性を育んだりすることができる。</li> <li>・ サワガニやホトケドジョウなどを観察することで、清らかな水に育まれる生き物のたくましさや素晴らしさを体感することができる。</li> </ul>													
<p>諸条件</p>	<p>場 所 本館裏～浦山</p>	<p>対 象 園児～</p>												
<p>所要時間</p>	<p>コース毎下記参照</p>	<p>人 数 制限なし</p>												
<p>時 期</p>	<p>全シーズン ※冬はお勧めしません</p>	<p>天 候 荒天不可・雨天相談</p>												
<p>センター所員の支援</p>	<p>(有) ・ 無</p>	<p>その他 資料をホームページよりダウンロード可</p>												
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ヘルメット小 ×150</li> <li>□ヘルメット大 × 40</li> <li>□ライフジャケット小×200</li> <li>□ライフジャケット大× 90</li> </ul>	<p>団体(個人)が準備する物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□救急用品</li> <li>□登山装備(防寒具等)</li> <li>(□水筒を持っていく場合…濡れてもよいナップサックなど)</li> <li>□ヘルメット(持参を推奨)</li> <li>※P21参照</li> </ul>												
<p>活動内容(手順)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20分</td> <td>                     事前にトイレを済ませておく                      装着説明(所員主導)                      ①荷物の確認～着替えの説明                      ②ライフジャケット(ヘルメット)の受け取り                      ※準備説明の裏側で、指導者と所員の最終打ち合わせ                      □コースの確認 □特別対応者の有無                      □人員点呼～健康観察のタイミングと場所 など                      出発式(所員主導)                 </td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>                     ①人員点呼～健康観察                      ②沢登りの約束(服装と装備の確認)                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     霧山コース 沢登り～浦山展望台～霧山山頂 約2時間                      ※所員の帯同は、沢登りゴール付近までとなります。                      浦山コース 沢登り～浦山展望台 約1時間30分                 </td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>                     返却説明(所員主導)※指導者のサポートが必要です。(P20参照)                      ○ヘルメット返却～ライフジャケット返却                 </td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>                     到着式(所員主導)                      ①人員点呼～健康観察                      ②着替えについて ③あいさつ                 </td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容	20分	事前にトイレを済ませておく 装着説明(所員主導) ①荷物の確認～着替えの説明 ②ライフジャケット(ヘルメット)の受け取り ※準備説明の裏側で、指導者と所員の最終打ち合わせ □コースの確認 □特別対応者の有無 □人員点呼～健康観察のタイミングと場所 など 出発式(所員主導)	10分	①人員点呼～健康観察 ②沢登りの約束(服装と装備の確認)	霧山コース 沢登り～浦山展望台～霧山山頂 約2時間 ※所員の帯同は、沢登りゴール付近までとなります。 浦山コース 沢登り～浦山展望台 約1時間30分		10分	返却説明(所員主導)※指導者のサポートが必要です。(P20参照) ○ヘルメット返却～ライフジャケット返却	5分	到着式(所員主導) ①人員点呼～健康観察 ②着替えについて ③あいさつ
所要時間	内 容													
20分	事前にトイレを済ませておく 装着説明(所員主導) ①荷物の確認～着替えの説明 ②ライフジャケット(ヘルメット)の受け取り ※準備説明の裏側で、指導者と所員の最終打ち合わせ □コースの確認 □特別対応者の有無 □人員点呼～健康観察のタイミングと場所 など 出発式(所員主導)													
10分	①人員点呼～健康観察 ②沢登りの約束(服装と装備の確認)													
霧山コース 沢登り～浦山展望台～霧山山頂 約2時間 ※所員の帯同は、沢登りゴール付近までとなります。 浦山コース 沢登り～浦山展望台 約1時間30分														
10分	返却説明(所員主導)※指導者のサポートが必要です。(P20参照) ○ヘルメット返却～ライフジャケット返却													
5分	到着式(所員主導) ①人員点呼～健康観察 ②着替えについて ③あいさつ													
<p>想定されるリスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□天候の悪化による事故(落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等)</li> <li>□疲労による事故(熱中症含む)</li> <li>□山の環境による事故(転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等)</li> <li>□人的要因で起こる事故(ふざけての事故等)</li> </ul>													



浜松市かな野外活動センター

# かな周辺地図

## 沢登り（くらやみ沢） コース地図



霧山コース（ロングコース）

本館裏～157番～浦山展望台～霧山山頂～浦山展望台～メインファイヤー場

浦山コース（ショートコース）

本館裏～157番～浦山展望台～メインファイヤー場

<p>活動名</p>	<h1>冒険トレッキング</h1>										
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然に親しみながら、グループの仲間と「地図」と「写真」をたよりに全行程を歩くことで、互いに励まし合ったり達成感を味わったりして仲間意識を深めることができる。</li> <li>・ グループの仲間と話し合っって順路を決定したり、ポイントの課題を解決したりすることで、グループの協調性を高めたり、コミュニケーション力をつけたりすることが期待できる。</li> </ul>										
<p>諸条件</p>	<p>場 所</p> <p>スタート、ゴール…本館</p>	<p>対 象</p> <p>小学生以上</p>									
	<p>所要時間</p> <p>約4時間(弁当有・CP有)</p>	<p>人 数</p> <p>制限なし</p>									
	<p>時 期</p> <p>全シーズン</p>	<p>天 候</p> <p>荒天不可</p>									
	<p>センター所員の支援</p> <p>有 ・ <b>無</b></p>	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料をホームページよりダウンロード可</li> <li>・本部とチェックポイントが必要(P25参照)</li> </ul>								
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物</p> <p><input type="checkbox"/>無線機(親機)×1台</p> <p><input type="checkbox"/>無線機(子機)×14台</p> <p><input type="checkbox"/>指導者用マグネット&amp;マップ×1</p> <p>※各上限</p>	<p>団体(個人)が準備する物</p> <p>個人<input type="checkbox"/>登山装備(雨具・防寒具)</p> <p><input type="checkbox"/>水筒</p> <p>団体<input type="checkbox"/>地図(ラミネート処理を推奨)</p> <p><input type="checkbox"/>救急用品</p> <p><input type="checkbox"/>グループ名簿</p> <p><input type="checkbox"/>緊急連絡簿</p> <p>等</p>									
<p>活動内容(手順)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td>始めの会(P.2参照)</td> </tr> <tr> <td>約4時間</td> <td><input type="checkbox"/>時間差(3~5分間)をつけて出発 (弁当有 <input type="checkbox"/>各グループの周り方確認(時計回り・反時計回り) ・CP有) <input type="checkbox"/>各ポイントで人員点呼~健康観察</td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>到着式 ①人員点呼~健康観察 ②各団体に応じた事後指導</td> </tr> </tbody> </table>			所要時間	内 容	10分	始めの会(P.2参照)	約4時間	<input type="checkbox"/> 時間差(3~5分間)をつけて出発 (弁当有 <input type="checkbox"/> 各グループの周り方確認(時計回り・反時計回り) ・CP有) <input type="checkbox"/> 各ポイントで人員点呼~健康観察	5分	到着式 ①人員点呼~健康観察 ②各団体に応じた事後指導
所要時間	内 容										
10分	始めの会(P.2参照)										
約4時間	<input type="checkbox"/> 時間差(3~5分間)をつけて出発 (弁当有 <input type="checkbox"/> 各グループの周り方確認(時計回り・反時計回り) ・CP有) <input type="checkbox"/> 各ポイントで人員点呼~健康観察										
5分	到着式 ①人員点呼~健康観察 ②各団体に応じた事後指導										
<p>想定されるリスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>天候の悪化による事故(落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等)</li> <li><input type="checkbox"/>疲労による事故(熱中症含む)</li> <li><input type="checkbox"/>山の環境による事故(転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等)</li> <li><input type="checkbox"/>人的要因で起こる事故(ふざけての事故等)</li> </ul>										

# 冒険トレッキングについて



## 1 やり方の説明(例)

### (1) 地図の確認

①「地図を持ち、決められたコースを歩きましょう。」

②「地図の裏側には写真があります。  
写真を手がかりにしましょう。」

「地図と写真の両方を利用すると、大きく迷うことがありません。」

※写真は、季節によって景色や樹木の様子が変わるので注意してください。

③「地図を見るときは、グループ全員で丸くなって相談しましょう。」

### (2) その他

①「自然や景色を楽しみながら、グループで協力して歩きましょう。」

② 弁当無 … 「およそ3時間かかります。」

弁当有 … 「およそ3時間半かかります。」

弁当有・チェックポイント有 … 「およそ4時間かかります。」

## 2 チェックポイントについて

※団体でどこに設置するかを検討しておきましょう。

(1) コース内に課題やクイズ等のチェックポイントを設けると、より一層楽しく活動できます。

(2) 指導者の人数により、チェックポイントや課題の数を変えることが可能です。

(3) 団体独自の問題を工夫することができます。

(4) チェックポイント例と課題例

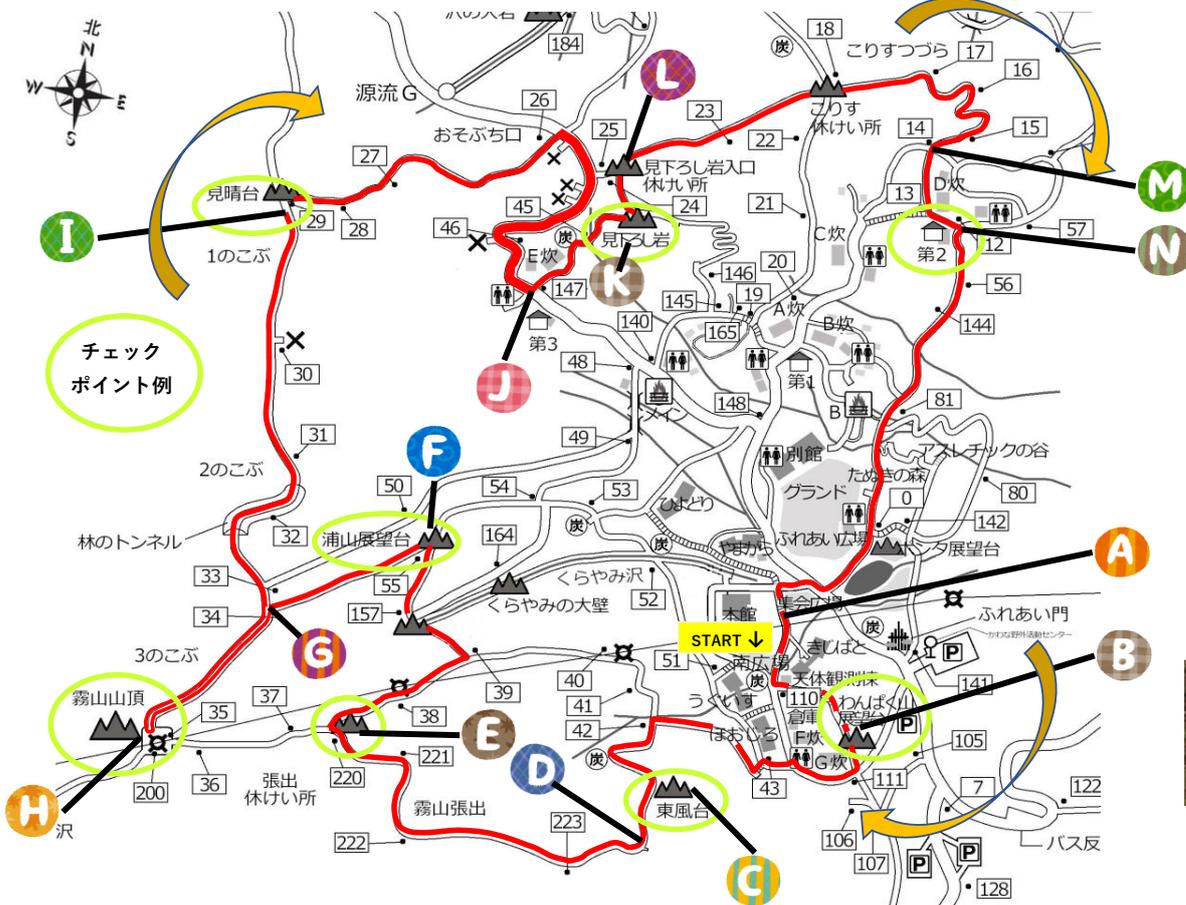
チェックポイント(例)	課題(例)
わんぱく山展望台	探せ！展望台から見える〇〇なもの。 ※例…赤い屋根の建物、回転しているもの 等
東風台	目の前に広がる景色のうち、正面に見える湖は何という名前でしょう。
浦山展望台	展望台から何本の風車が見えるでしょう。
霧山山頂	やまびこに挑戦してみよう。北側と南側のどちらでもできるよ。 (「ヤッホー」ではなく「ヤッホ！」と叫ぶのがコツ)
見晴台	時刻と太陽の位置をヒントにして、見晴台から見た南の方向はどこですか。 (ヒント：太陽は1時間に15°西に動きます)
見下ろし岩	見下ろし岩から見える風車の数はいくつ？
第2キャンプ場	D炊飯棟にかまどはいくつあるでしょう。
フリー問題①	宝探し：チェックポイントの指導者が示した自然物と同じ物を制限時間内に見つけよう。
フリー問題②	今の気持ちを一言で表すと、何になりますか。しおりに書き留めましょう。

※下見を行うと見えてくる検討ポイント

○チェックポイントは上記以外も考えられます。特にE炊飯棟は水道やトイレ施設があるため、水分補給やトイレ休憩を行うのに適しています。

※ 下見の際、チェックポイントの場所と数を決めましょう。

# 冒険トレッキング Aコース(東風台回り A→B→C→…→N→A)



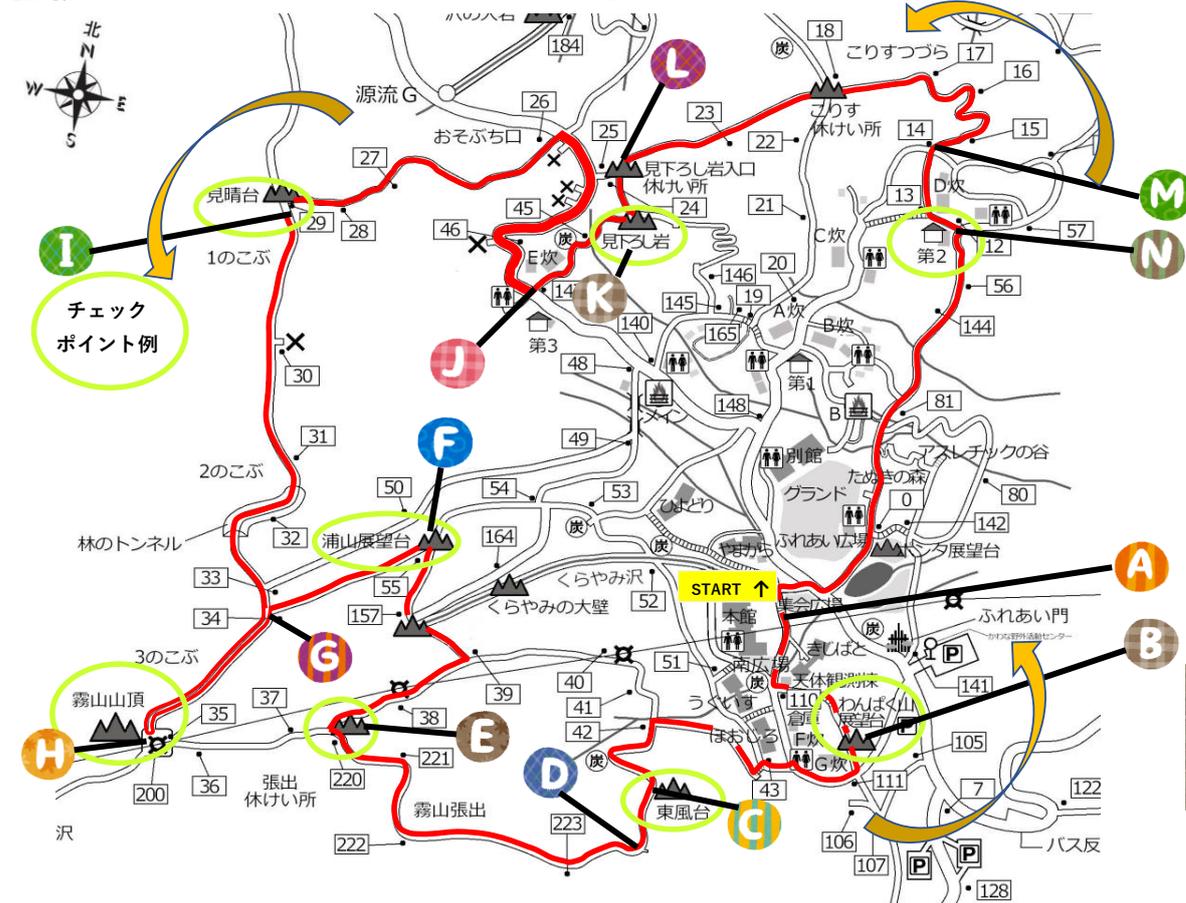
## 地図記号

- 施設等
- H 宿泊棟
- 数字 ナンバー看板
- 🏕️ キャンプ
- 🔥 ファイヤー場
- 🏠 山荘
- 🏔️ ビューポイント
- 🏞️ 休けい所
- 〰️ 階段
- 🚻 トイレ
- P 駐車場
- ⚡ 鉄塔・送電線
- ⌒ 橋
- X 行き止まり
- 🚏 いなさみどりバス 停留所
- 🗑️ 炭焼がま跡
- 🚫 国道
- ⋯ 国有林道 (進入禁止)



A～Nのポイントには、写真のような黄色い看板があるよ。目印にしよう。

# 冒険トレッキング Bコース(見下ろし岩回り A→N→M→…→B→A)



## 地図記号

- 施設等
- H 宿泊棟
- 数字 ナンバー看板
- 🏕️ キャンプ
- 🔥 ファイヤー場
- 🏠 山荘
- 🏔️ ビューポイント
- 🏞️ 休けい所
- 〰️ 階段
- 🚻 トイレ
- P 駐車場
- ⚡ 鉄塔・送電線
- ⌒ 橋
- X 行き止まり
- 🚏 いなさみどりバス 停留所
- 🗑️ 炭焼がま跡
- 🚫 国道
- ⋯ 国有林道 (進入禁止)



A～Nのポイントには、写真のような黄色い看板があるよ。目印にしよう。



**冒険トレッキングに挑戦**

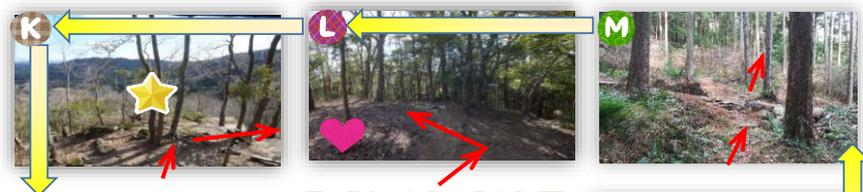
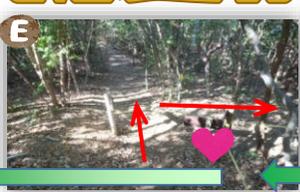
- ・地図の丸い文字の場所がそれぞれ写真になっているよ。
- ・赤い矢印をヒントにして進もう
- ・迷ったら、わかる場所までもどって進もう。



# 冒険トレッキングA 時計回りコース

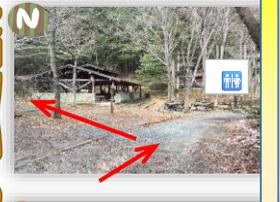


☆のところは、かわなのビューポイントだよ。かわなの美しい景色を楽しもう！  
♡のところはかわなの休けい所だよ。  
🚻はトイレだよ。早め早めにトイレに寄っておくと、こまることはないよ。



**冒険トレッキングに挑戦**

- ・地図の丸い文字の場所がそれぞれ写真になっているよ。
- ・赤い矢印をヒントにして進もう
- ・迷ったら、わかる場所までもどって進もう。



# 冒険トレッキングB 反時計回りコース



☆のところは、かわなのビューポイントだよ。かわなの美しい景色を楽しもう！  
♡のところはかわなの休けい所だよ。  
🚻はトイレだよ。早め早めにトイレに寄っておくと、こまることはないよ。





<p>活動名</p>	<p><b>ウォークラリー</b></p>																										
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで「コマ地図」をたよりにコースを歩き、得点やタイムを競い合うことで、グループの協調性を高めたり、コミュニケーション力をつけたりすることができる。</li> <li>自然を感じながら全行程を歩くことで、自然に親しむとともに、互いに励まし合ったり達成感を味わったりして仲間意識を深めることができる。</li> </ul>																										
<p>諸条件</p>	<p>場 所 : スタート、ゴール…適宜</p>	<p>対 象 : 小学生以上</p>																									
<p>所要時間</p>	<p>コース毎下記参照</p>	<p>人 数 : 各グループ4～6人程度</p>																									
<p>時 期</p>	<p>全シーズン</p>	<p>天 候 : 荒天不可</p>																									
<p>センター所員の支援</p>	<p>有 ・ <b>無</b></p>	<p>その他 : ・資料をホームページよりダウンロード可 ・本部とチェックポイントが必要 (P.29参照)</p>																									
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物  <input type="checkbox"/>無線機 (親機) × 1台  <input type="checkbox"/>無線機 (子機) × 14台  <input type="checkbox"/>指導者用マグネット&amp;マップ × 1 ※絡上限</p>	<p>団体 (個人) が準備する物                  個人<input type="checkbox"/>登山装備 (雨具・防寒具)  <input type="checkbox"/>水筒                  団体<input type="checkbox"/>地図 (ラミネート処理を推奨)  <input type="checkbox"/>救急用品  <input type="checkbox"/>グループ名簿  <input type="checkbox"/>緊急連絡簿                  等</p>																									
<p>活動内容 (手順)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">所要時間</th> <th colspan="2">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td colspan="2">始めの会 (P.2参照)</td> </tr> <tr> <td><b>1.5時間</b></td> <td colspan="2">                     (1) 北コース…見下ろし岩周遊    A: 時計回り    B: 反時計回り                      (2) 南コース…東風台周遊        A: 時計回り    B: 反時計回り                 </td> </tr> <tr> <td><b>3時間 (2~2.5時間)</b></td> <td colspan="2">                     (1) 霧山コース                        A: 時計回り    B: 反時計回り                      (2) 霧山コース (ショート)        A: 時計回り    B: 反時計回り                 </td> </tr> <tr> <td><b>5時間</b></td> <td colspan="2">                     (1) いなさ湖コース                A: 時計回り    B: 反時計回り                      (2) いなさ湖コース (ショート)    A: 時計回り    B: 反時計回り                      (3) 滝沢展望台コース            A: 時計回り    (B: 反時計回り)                 </td> </tr> <tr> <td><b>6時間</b></td> <td colspan="2">(1) 滝沢コース                        A: 時計回り</td> </tr> <tr> <td><b>7時間</b></td> <td colspan="2">(1) 霧山・いなさ湖コース        A: 時計回り    B: 反時計回り</td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td colspan="2">終わりの会 (P.2参照)</td> </tr> </tbody> </table>			所要時間	内 容		10分	始めの会 (P.2参照)		<b>1.5時間</b>	(1) 北コース…見下ろし岩周遊    A: 時計回り    B: 反時計回り (2) 南コース…東風台周遊        A: 時計回り    B: 反時計回り		<b>3時間 (2~2.5時間)</b>	(1) 霧山コース                        A: 時計回り    B: 反時計回り (2) 霧山コース (ショート)        A: 時計回り    B: 反時計回り		<b>5時間</b>	(1) いなさ湖コース                A: 時計回り    B: 反時計回り (2) いなさ湖コース (ショート)    A: 時計回り    B: 反時計回り (3) 滝沢展望台コース            A: 時計回り    (B: 反時計回り)		<b>6時間</b>	(1) 滝沢コース                        A: 時計回り		<b>7時間</b>	(1) 霧山・いなさ湖コース        A: 時計回り    B: 反時計回り		5分	終わりの会 (P.2参照)	
所要時間	内 容																										
10分	始めの会 (P.2参照)																										
<b>1.5時間</b>	(1) 北コース…見下ろし岩周遊    A: 時計回り    B: 反時計回り (2) 南コース…東風台周遊        A: 時計回り    B: 反時計回り																										
<b>3時間 (2~2.5時間)</b>	(1) 霧山コース                        A: 時計回り    B: 反時計回り (2) 霧山コース (ショート)        A: 時計回り    B: 反時計回り																										
<b>5時間</b>	(1) いなさ湖コース                A: 時計回り    B: 反時計回り (2) いなさ湖コース (ショート)    A: 時計回り    B: 反時計回り (3) 滝沢展望台コース            A: 時計回り    (B: 反時計回り)																										
<b>6時間</b>	(1) 滝沢コース                        A: 時計回り																										
<b>7時間</b>	(1) 霧山・いなさ湖コース        A: 時計回り    B: 反時計回り																										
5分	終わりの会 (P.2参照)																										
<p>想定されるリスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>天候の悪化による事故 (落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等)</li> <li><input type="checkbox"/>疲労による事故 (熱中症含む)</li> <li><input type="checkbox"/>山の環境による事故 (転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等)</li> <li><input type="checkbox"/>人的要因で起こる事故 (車道に広がったの接触事故、ふざけての事故等)</li> </ul>																										

# ウォークラリーについて

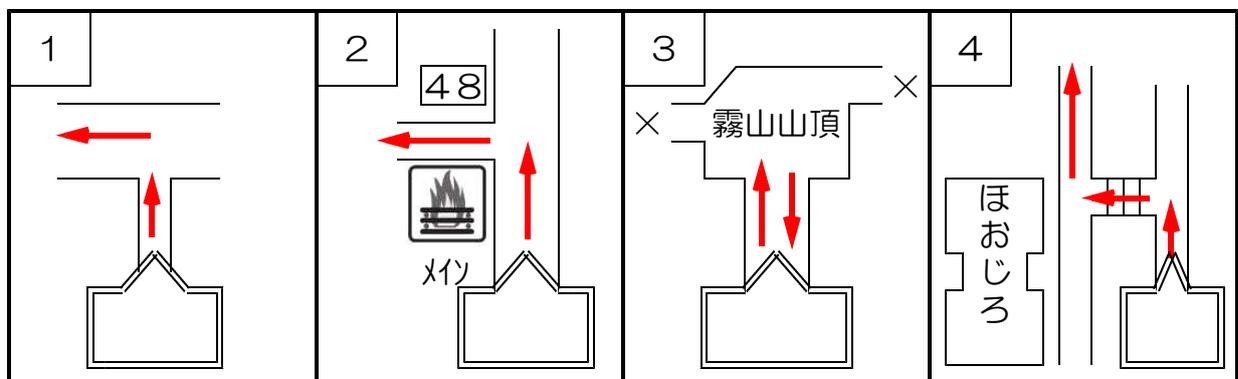
ここがオススメ！

- ①地図が読めなくても、「コマ地図」で未知のコースに挑戦できます。
- ②ゴールする時刻を目標設定することで、歩く速さを調節させることができます。

## 1 やり方の説明 (例)

### (1) コマ地図の確認

- 「コマ地図をもとに順路を探しながら歩き、最後はゴールに戻ります。」
- 「コマ地図を見るときは、グループ全員で丸くなって相談しましょう。」
- 「コマ地図は地図の下を“おへそにくっつけて”見ましょう。」
- コマ地図の見方
  - ・下図の○印が自分の立ち位置です。
  - ・原則、図の上方が前方を指し、矢印が進行方向を指します。
  - ・図の中には目印になる記号や番号看板、メッセージ等が示されています。



「突き当たり、  
広い道を左折」

「メソファイヤ-場の先  
看板48で左折」

「霧山山頂に行き、  
来た道に戻る」

「左折し階段を進ん  
で、右折」

- 最初にスタート位置から「コマ地図1」の地点まで行って、開始します。  
※コマ地図1にはコース名を記した肌色（ピンク）の看板があります。

### (2) 時間について

- ルール A「最短時間を競います。」
- ルール B「ゴール目標時刻の差の少なさを競います。」  
※活動時間は団体の人数や実施方法グループの出発間隔の時間で異なります。

始めの会＋出発間隔時間＋歩行時間（1フィット<sup>o</sup>イ<sup>o</sup>外<sup>o</sup>含<sup>o</sup>）＋終わりの会＝活動時間

- 「スタートは、グループごとに〔3・5・他〕分間の時間差をつけます。」

### (3) 行動について

- 「自然や景色を楽しみながら、グループで協力して歩きましょう。」

## 2 チェックポイントについて

### (1) チェックポイントを設定する場合

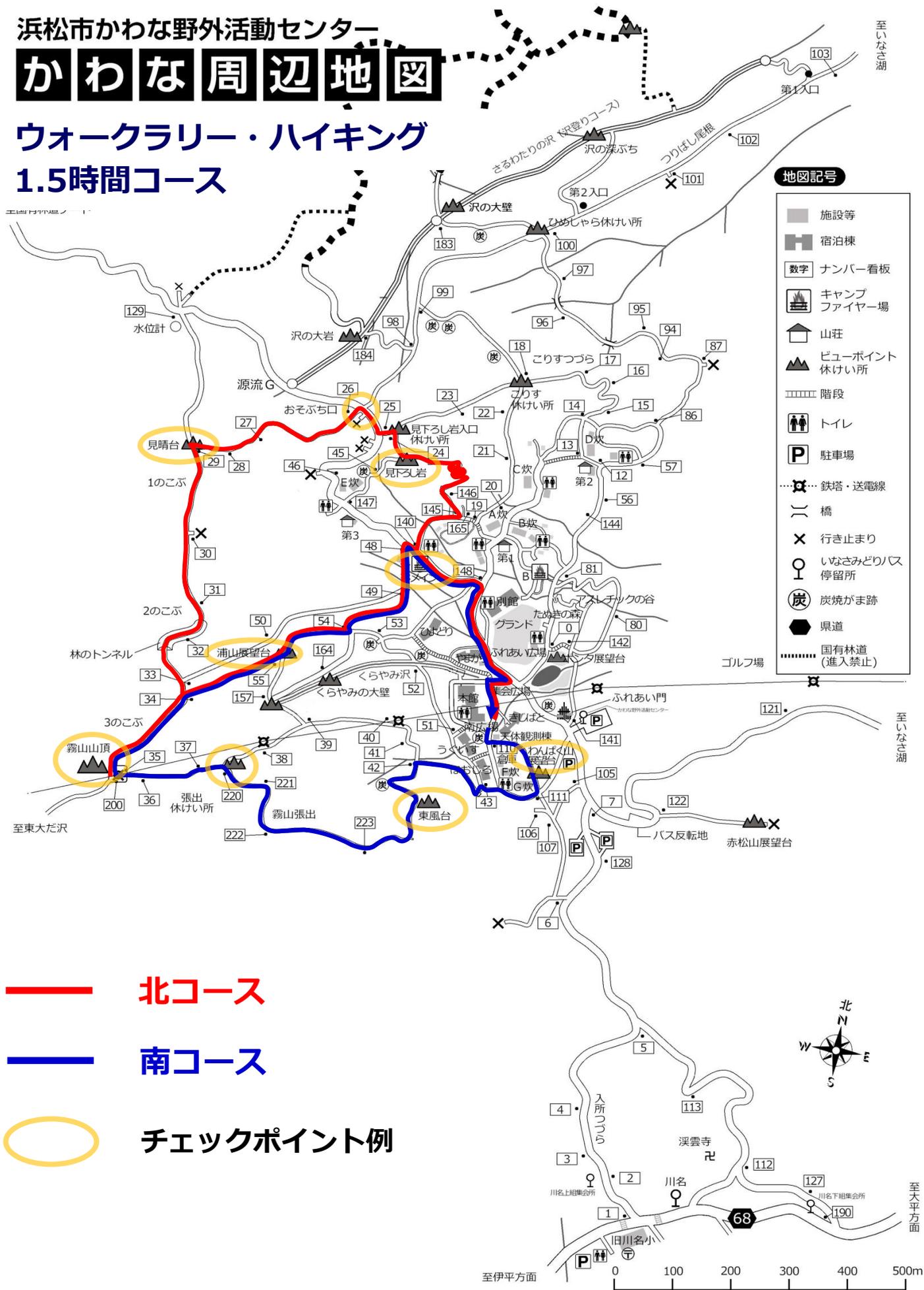
「コース上にポイントを設定しています。  
各ポイントに問題があるので、グループのみんなで挑戦しましょう。」

- (2) コース内に課題やクイズ等のチェックポイントを設けると、より一層楽しく活動できます。（ホームページ上に Excel の問題シートがあります。）
- (3) 指導者の人数により、チェックポイントや課題の数を変えることが可能です。
- (4) 団体独自の問題を工夫することができます。  
※下見の際、団体で設置するかしないかを検討したり、箇所や数を決めましょう。

浜松市かわな野外活動センター

# かわな周辺地図

## ウォークラリー・ハイキング 1.5時間コース



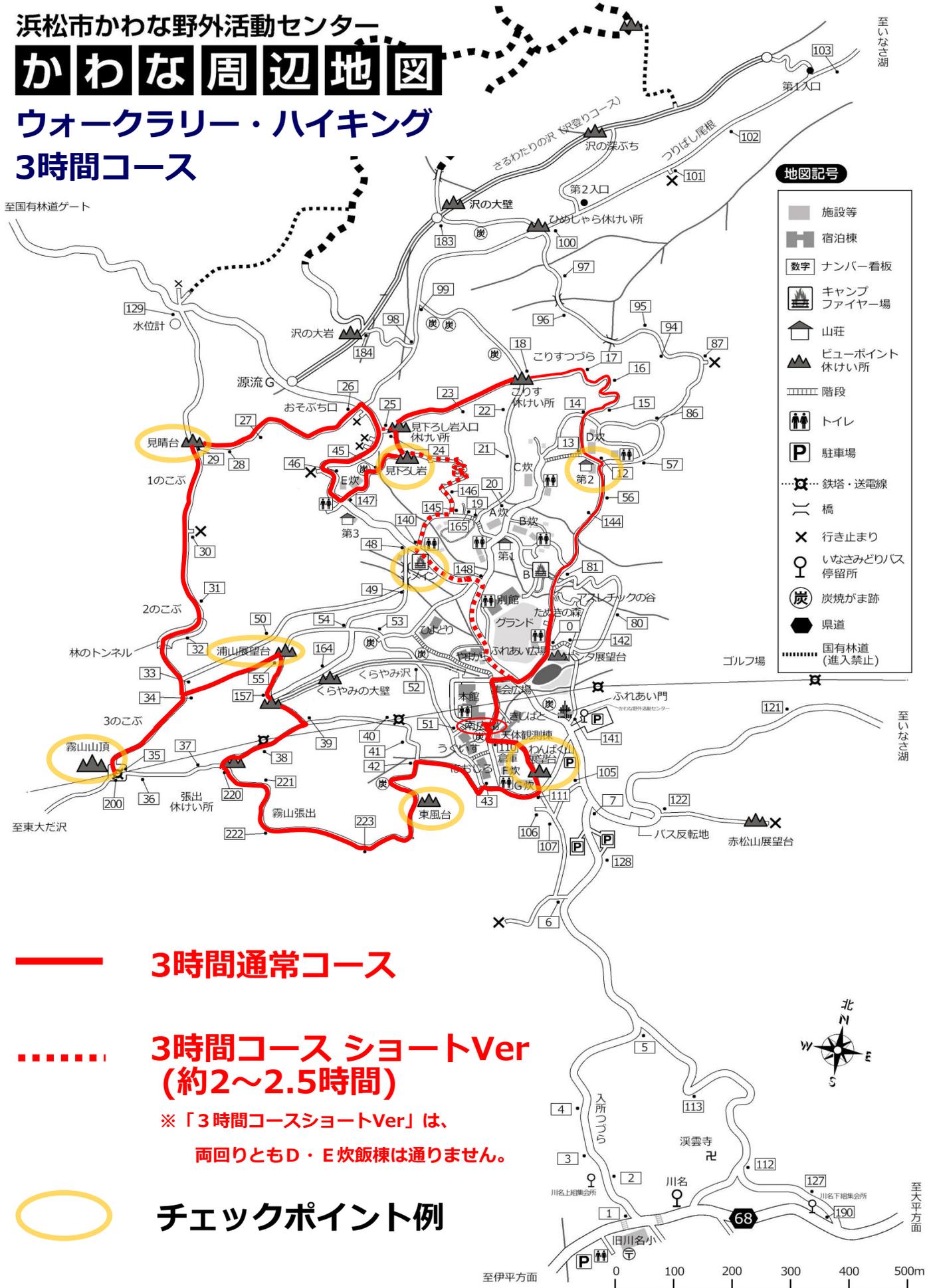
- 北コース
- 南コース
- チェックポイント例

浜松市かわな野外活動センター

# かわな周辺地図

## ウォークラリー・ハイキング 3時間コース

至国有林道ゲート



### 地図記号

- 施設等
- 宿泊棟
- 数字 ナンバー看板
- 🔥 キャンプ  
ファイヤー場
- 🏠 山荘
- ▲ ビューポイント  
休けい所
- ▬ 階段
- ♿ トイレ
- P 駐車場
- ⚡ 鉄塔・送電線
- 〰 橋
- ✕ 行き止まり
- いなさみどりバス  
停留所
- Ⓜ 炭焼がま跡
- ⬛ 県道
- ⋯ 国有林道  
(進入禁止)

**— 3時間通常コース**

**⋯ 3時間コース ショートVer  
(約2~2.5時間)**

※「3時間コースショートVer」は、  
両回りともD・E炊飯棟は通りません。

**○ チェックポイント例**

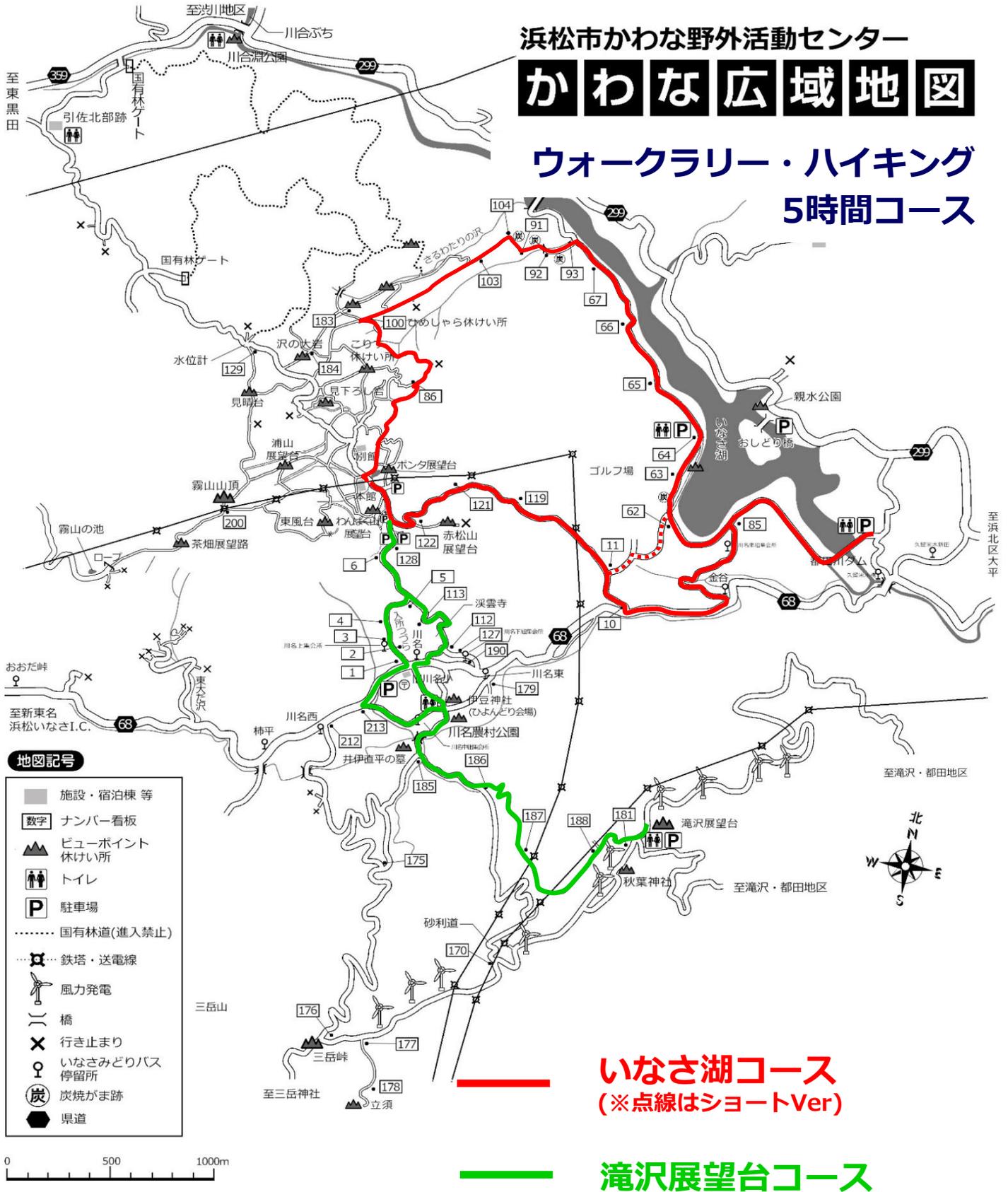
至伊平方面

至大平方面

浜松市かわな野外活動センター

# かわな広域地図

## ウォークラリー・ハイキング 5時間コース



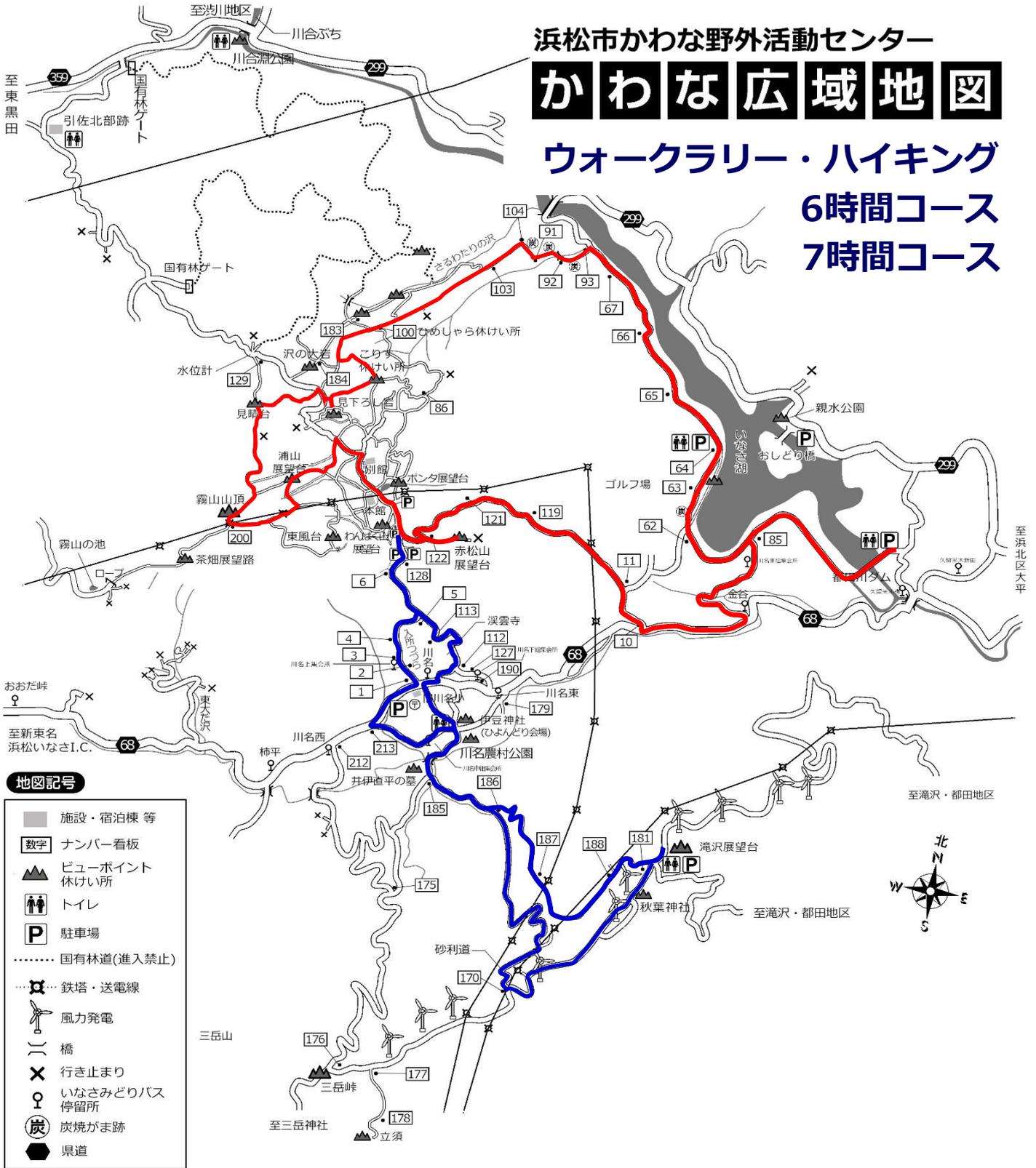
**いなさ湖コース**  
(※点線はショートVer)

**滝沢展望台コース**

浜松市かわな野外活動センター

# かわな広域地図

ウォークラリー・ハイキング  
 6時間コース  
 7時間コース



**滝沢展望台6時間コース**

**霧山・いなさ湖7時間コース**

活動名	<b>ポイントハイク</b>													
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで地図をたよりに、看板を探したり、問題を解いたりすることにより、グループの協調性を高めたり、コミュニケーション力をつけたりすることができる。</li> <li>自然を感じながら選んだ行程を歩くことで、自然に親しむとともに、互いに励まし合ったり達成感を味わったりして仲間意識を深めることができる。</li> </ul>													
諸条件	場 所	スタート、ゴール…適宜	対 象	小学生高学年以上										
	所要時間	約3時間以内	人 数	各グループ4～6人程度										
	時 期	全シーズン	天 候	荒天不可										
	センター所員の支援	有 ・ <b>無</b>		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料をホームページよりダウンロード可</li> <li>本部（と合格チェックポイント）が必要</li> </ul>									
準備物	センターが貸し出す物 <input type="checkbox"/> 無線機（親機）×1台 <input type="checkbox"/> 無線機（子機）×14台 <input type="checkbox"/> ポイント13用のこぎりセット <input type="checkbox"/> ポイント19用楽譜セット <input type="checkbox"/> 指導者用マグネット&マップ×1 ※絡上限		団体（個人）が準備する物 個人 <input type="checkbox"/> 登山装備（雨具・防寒具） <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 探検バッグ（各グループごと） 団体 <input type="checkbox"/> 地図（書き込み可能地図推奨） <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> グループ名簿 <input type="checkbox"/> 緊急連絡簿                 等											
活動内容（手順）	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">所要時間</th> <th style="width:85%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td>始めの会（P.2参照）</td> </tr> <tr> <td>1時間～</td> <td><input type="checkbox"/>作戦タイム（グループごとにルート確認）</td> </tr> <tr> <td>2時間半</td> <td><input type="checkbox"/>スタート方法…一斉またはグループごと <input type="checkbox"/>各ポイントで人員点呼～健康観察</td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>終わりの会（P.2参照）</td> </tr> </tbody> </table>				所要時間	内 容	10分	始めの会（P.2参照）	1時間～	<input type="checkbox"/> 作戦タイム（グループごとにルート確認）	2時間半	<input type="checkbox"/> スタート方法…一斉またはグループごと <input type="checkbox"/> 各ポイントで人員点呼～健康観察	5分	終わりの会（P.2参照）
所要時間	内 容													
10分	始めの会（P.2参照）													
1時間～	<input type="checkbox"/> 作戦タイム（グループごとにルート確認）													
2時間半	<input type="checkbox"/> スタート方法…一斉またはグループごと <input type="checkbox"/> 各ポイントで人員点呼～健康観察													
5分	終わりの会（P.2参照）													
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 天候の悪化による事故（落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等） <input type="checkbox"/> 疲労による事故（熱中症含む） <input type="checkbox"/> 山の環境による事故（転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等） <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（車道に広がったの接触事故、ふざけての事故等）													

# ポイントハイクについて

ここがオススメ！

- ①一斉にスタートができます。
- ②ポイントを見つけ、五感を働かせて問題を解いていきます。進むコースをグループごと選び、歩き、見つけ、考え、解いていく楽しみがあります。
- ③団体の希望する時間に合わせ、歩くコースやポイント数を選べます。

## 1 事前の準備

(1) 下見を通して、以下を確認します。

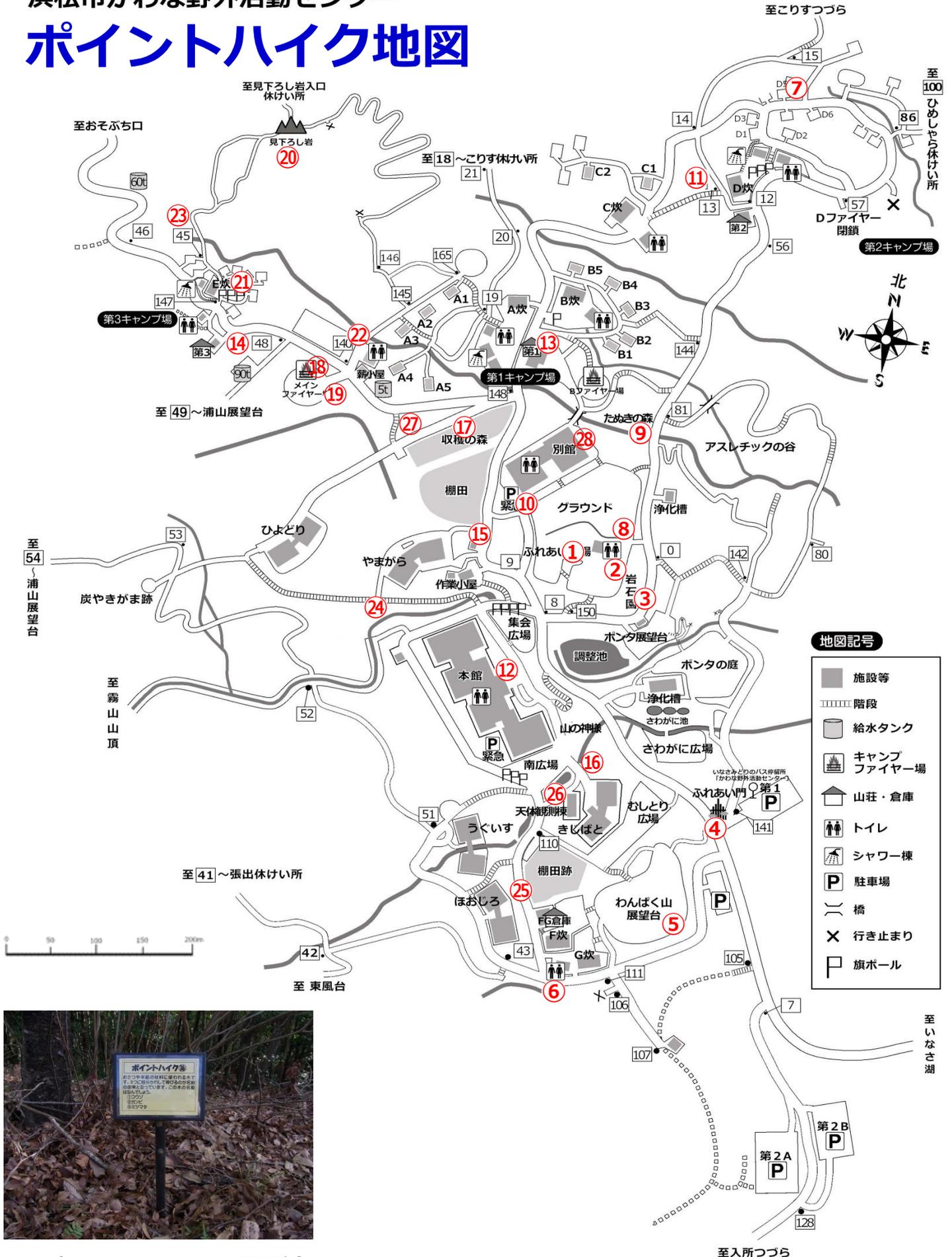
確認項目	決定事項
①指導者の人数	本部（スタート・ゴール）×（ ）人 ポイントに立つ指導者×（ ）人
②グループの人数構成	（ ）人 ※1グループ4～6人が適当
③活動時間	（ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分 （ ）分間
④ポイント（活動範囲）	・指導者の合格チェックポイント …13 19 ※センター設置ポイントすべてを使わなくてもOKです。 団体オリジナルポイントを追加してもOKです。 例…「景色をながめながら俳句を作ろう。」 「各種ゲーム（輪投げ、人間並べ替えなど）」 「宝探しをしよう。」 ・眺めの良いポイント … 5 20
⑤配点	・通過した得点 ・問題に正解した得点 ・ゴール到着時間の得点

- (2) 各グループに配付する地図と問題用紙を作成します。
- (3) 実施する当日、追加するポイントがある場合、設置します。
- (4) チェックポイント13用のこぎりセットやチェックポイント19用の楽譜セットの貸出を希望する団体は、事前打ち合わせまたは受付時まで申し込んでください。

## 2 やり方の説明（例）

- (1) 「グループごとに地図はありますか？」→問題用紙・筆記用具の確認
- (2) 問題について…各ポイントに設置してある問題の例を見せる。  
「時間内に、できるだけ多くポイントを通り、問題を解きましょう。」  
「必ず通らなければならないポイントは（ ）番です。」  
「問題によって、答えが1つでないものもあります。  
答えを限定せず、グループのみんなが感じ取ったものを大切にしましょう。」
- (3) 「終了時刻は（ ）時（ ）分です。」  
「ゴール場所は（ ）です。」
- (4) 「得点、順位の発表は（ ）で行います。お楽しみに！」

# 浜松市かわな野外活動センター ポイントハイク地図



ポイントハイク用看板

(この看板をみつけてね!)

# ポイントハイク (解答)

◎全問28題。どこから始めてもいいよ。  
◎1問20点。◇印は30点。☆印は50点!めざせ高得点!



場所(標識番号)	問題	得点	こたえ
☆⑤わんぱく山展望台	正面の山の中段に観音山少年自然の家の白い建物が見えます。この建物の一番近い方位はどれでしょう。 ①東 ②南 ③西	50	
☆⑩見下ろし岩	正面を見ると大型風力発電機が見えます。浜松市北区引佐町から蒲沢町にかけての山頂に全部で何基作られましたか。 ①8基 ②10基 ③12基	50	
◇⑬第1山荘のうろ	丸太を切ろう! 【合格したらサインをもらおう】	30	合格サイン
◇⑭メインファイヤー場	楽譜を演奏してみんなで歌おう! 【合格したらサインをもらおう】	30	合格サイン
①ふれあい広場	リスはマツの実をかじって写真のようなものを作ります。これは何ですか。 ①エビフライ ②エビモ ③ハムフライ	20	
②ふれあい広場外トイレ小屋付近	この木は香りがよいので高級な「つまようじ」に使われます。この木の名前はどれでしょう。 ①アオモシ ②シロモシ ③クロモシ	20	
③岩石園付近	動物の骨や骨などの成分が水産に集まっててまがつて引佐町伊谷にセメント工場がありました。この岩はどれでしょう。(岩石の説明板を見ながら探してみよう) ①粘板岩 ②凝灰岩 ③石灰岩	20	
④ふれあい門	この門に丸太は何本使われているでしょう。 ①53本 ②54本 ③55本	20	
⑥G炊飯棟付近	ヒノキの葉の裏にどんなアルファベット文字の模様がみえるでしょう。 ①X ②Y ③Z	20	
⑦第2キャンプ場付近	この巨木の高さは何メートルくらいでしょう。(誤差3mまでは合格です)	20	
⑧グラント	これは何の木のツルでしょう。 ①フジ ②ブドウ ③ヤマイモ	20	
⑨たぬきの森	たぬきの足跡はどれでしょう。	20	
⑩別館前	ドングリができるこの木の名前はどれでしょう。 ①カエデ ②クヌギ ③サクラ	20	
⑪C炊飯棟～D炊飯棟の階段付近	竹が1日(24時間)に伸びた長さの最長記録はどれでしょう。 ①約1cm ②約10cm ③約100cm	20	
⑫本館前	この木の名前の由来は、果実の形が人間の体のある部分と似ていることからきています。この木の名前はどれでしょう。 ①クチナシ ②コブシ ③ハナイカダ	20	

場所(標識番号)	問題	得点	こたえ
⑭第3キャンプ場付近のシート栽培場	シタケ栽培の原木に選した木はどれでしょう。 ①マツ ②コナラ ③ヒノキ	20	
⑮モリアオガエル産卵場	この網や木の枝に卵を産みつけるモリアオガエルはどれでしょう。3つの写真から選んでください。	20	
⑯南広場	おさつや半紙の材料に使われる木です。3つに枝が分かれた木はどれでしょう。 ①サシヨウ ②ミツバツツシ ③ミツマタ	20	
⑰収穫の森	この木の果実は鋭い針のようないがでおおわれています。木の名前はどれでしょう。 ①モモ ②クリ ③ガキ	20	
⑱メインファイヤー場(48下)	メインファイヤー場にあるいすの数はいくつでしょう。(神様のいすもきむ) ①122 ②125 ③128	20	
⑲E炊飯棟の前	この木(アベマキ)は、樹皮を押し試みると弾力があることから「○○○クヌギ」の別名があります。○○○に当てはまるものはどれでしょう。(樹皮を割ってみよう) ①ガク ②フリン ③コルク	20	
⑳メソファ場下のトイレの前	川をのりて、フジバカマやキシヨランなどの種物をもまします。次の写真の中で「アサキマダラ」はどれでしょう。	20	
㉑見下ろし岩への道(45)付近	ここは何の跡でしょう。 ①熊の跡 ②昔の人の倉庫の跡 ③動物のすまか跡	20	
㉒やまがら～ひよどりの階段	ここから唐泊棟「ひよどり」までの階段は何段あるでしょう。 ①145段 ②147段 ③150段	20	
㉓FG炊飯棟付近の畑	初夏の頃になると発光しながら飛び昆虫が見られます。この虫の名前はどれでしょう。 ①ホタル ②トンボ ③チョウ	20	
㉔天体観測棟	この天体観測棟の中にある一番大きな天体望遠鏡の筒の部分の直径はどれでしょう。 ①8cm ②40cm ③80cm	20	
㉕収穫の森	ダイダイは縁起がいいと言われていて、日本の伝統的な行事に使われています。どの行事の何に使われているでしょう。 ①お正月のしめ縄飾り ②七夕のさざ飾り ③ひなまつりのおぞなえ	20	
㉖別館東	このツツジの名前はどれでしょう。(ヒント 花びらや葉の裏をみてください) ①モミツツジ ②コメツツジ ③ノリツツジ	20	
<b>合計点</b>		<b>/640点</b>	
<b>班番号・班名</b>			

# ポイントハイク (解答)

◎全問28題。どこから始めてもいいよ。  
◎1問20点。◇印は30点。☆印は50点!めざせ高得点!



場所(標識番号)	問題	得点	こたえ
☆⑤わんぱく山展望台		50	
☆⑩見下ろし岩		50	
◇⑬第1山荘のうろ		30	合格サイン
◇⑭メインファイヤー場		30	合格サイン
①ふれあい広場		20	
②ふれあい広場外トイレ小屋付近		20	
③岩石園付近		20	
④ふれあい門		20	
⑥G炊飯棟付近		20	
⑦第2キャンプ場付近		20	
⑧グラント		20	
⑨たぬきの森		20	
⑩別館前		20	
⑪C炊飯棟～D炊飯棟の階段付近		20	
⑫本館前		20	

場所(標識番号)	問題	得点	こたえ
⑭第3キャンプ場付近のシート栽培場		20	
⑮モリアオガエル産卵場		20	
⑯南広場		20	
⑰収穫の森		20	
⑱メインファイヤー場(48下)		20	
⑲E炊飯棟の前		20	
⑳メソファ場下のトイレの前		20	
㉑見下ろし岩への道(45)付近		20	
㉒やまがら～ひよどりの階段		20	
㉓FG炊飯棟付近の畑		20	
㉔天体観測棟		20	
㉕収穫の森		20	
㉖別館東		20	
<b>合計点</b>		<b>/640点</b>	
<b>班番号・班名</b>			

活動名	<h1 style="text-align: center;">フォトロゲイニング</h1>																
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図」と「ポーズシート」を用いてグループで作戦を立て、その作戦にしたがって活動することで、グループの協調性を高めたり、コミュニケーション力をつけたりすることができる。</li> <li>楽しいポーズで撮影し、互いに声を掛け合ったり撮影した写真を見たりすることで、達成感を味わい、仲間意識を深めることができる。</li> </ul>																
<p>諸条件</p>	<p>場 所 : スタート、ゴール…適宜</p>	<p>対 象 : 小学生高学年以上</p>	<p>所要時間 : 60～180分間</p>		<p>人 数 : 任意</p>												
<p>時 期 : 全シーズン</p>		<p>天 候 : 雨天不可</p>		<p>センター所員の支援 有 ・ <b>無</b></p>		<p>その他 : 資料をホームページよりダウンロード可</p>											
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>無線機（親機）×1台</li> <li><input type="checkbox"/>無線機（子機）×14台</li> <li><input type="checkbox"/>指導者用マッ ネット&amp;マップ ×1 ※絡上限</li> </ul>		<p>団体（個人）が準備する物</p> <p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>登山装備（雨具・防寒具）</li> <li><input type="checkbox"/>水筒</li> </ul> <p>団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>地図（ラミネート処理を推奨）</li> <li><input type="checkbox"/>ポーズシート</li> <li><input type="checkbox"/>デジタルカメラ（グループ分）</li> <li><input type="checkbox"/>救急用品</li> <li><input type="checkbox"/>グループ名簿</li> <li><input type="checkbox"/>緊急連絡簿</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>														
<p>活動内容 （手順）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">所要時間:</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td>始めの会（P2参照）</td> </tr> <tr> <td>60～</td> <td><input type="checkbox"/>スタート方法…グループごと</td> </tr> <tr> <td>180分</td> <td><input type="checkbox"/>指導者の立っているポイントごと人員点呼～健康観察</td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>終わりの会（P2参照）</td> </tr> <tr> <td>事後</td> <td>採点</td> </tr> </tbody> </table>					所要時間:	内 容	10分	始めの会（P2参照）	60～	<input type="checkbox"/> スタート方法…グループごと	180分	<input type="checkbox"/> 指導者の立っているポイントごと人員点呼～健康観察	5分	終わりの会（P2参照）	事後	採点
所要時間:	内 容																
10分	始めの会（P2参照）																
60～	<input type="checkbox"/> スタート方法…グループごと																
180分	<input type="checkbox"/> 指導者の立っているポイントごと人員点呼～健康観察																
5分	終わりの会（P2参照）																
事後	採点																
<p>想定されるリスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>天候の悪化による事故（落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等）</li> <li><input type="checkbox"/>疲労による事故（熱中症含む）</li> <li><input type="checkbox"/>山の環境による事故（転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等）</li> <li><input type="checkbox"/>人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）</li> </ul>																

# フォトロゲイニングについて

フォトロゲイニングとは？

- ☆「地図」をもとに、時間内にポイントを回って得点を集める活動です。
- ☆ポイントに到達した記録として、「ポーズシート」と同じ風景、同じポーズをみんなで撮影する楽しさがあります。
- ※各グループに1台デジタルカメラが必要です。



ここがオススメ！

- ①一斉にスタートできます。
- ②得点や距離、標高などを考慮して、自分たちでコースを決める楽しみがあります。
- ③場所によって得点が異なり、難易度が高い場所ほど高得点になっているため、作戦タイムを設けてコースを考える楽しみがあります。

## 1 事前の準備 (例)

(1) 下見を通して、以下を確認します。

確認項目	決定事項
①指導者の人数	本部（スタート・ゴール）×（ ）人 ポイントに立つ指導者×（ ）人
②グループ数と人数	（ ）人×（ ）グループ
③カメラの台数	（ ）グループ＝デジタルカメラ（ ）台 ※バッテリーチェックも忘れずに！
④活動時間	（ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分 作戦時間…（ ）分間 ※5～10分間が適当 活動時間…（ ）分間 ※60～180分間の中から選択 ※180分間を超えると、全ポイントを回る事ができるので、差が出なくなります。

- (2) 「地図」と「ポーズシート」を、グループ数分ラミネートで処理しておきます。
- (3) 事前にルールの説明をし、各グループで作戦を立て、歩くルートを図に記入させておきましょう。  
※各グループから歩くルートが記入された地図を事前に回収・コピーし、各班の予定を把握しておくこと、より安全な活動につながります。

## 2 やり方の説明 (例)

- (1) 「スタートは（ ）、ゴールは（ ）です。」
- (2) 「スタート時刻は（ ）：（ ）。ゴール時刻は（ ）：（ ）です。  
決められた時刻より
  - ①早くゴールすると、15分より前で1分につき（ ）点マイナス
  - ②遅れてゴールすると、1分につき（ ）点マイナスです。」
- (3) 「チェックポイントの番号の、1の位を切り捨てた10の位の数字が得点です。」  
例：19…10点 31…30点
- (4) 「チェックポイントでは「ポーズシート」と同じポーズで写真を撮りましょう。」  
カメラマン以外の全員で撮影しましょう。カメラマンは毎回交代しましょう。」
- (5) 作戦確認タイム（5～10分程度）

確認ポイント①歩くルート（侵入禁止の×印内で）  
②標高の表示から高低差を確認

- (6) 「ゴールでチェック表とデジタルカメラを提出しましょう。採点に使用します。」

# フォトロゲイニング地図



## 地図記号

-  施設等
-  宿泊棟
-  数字 ナンバー看板
-  キャンプ  
ファイヤー場
-  山荘
-  ビューポイント  
休九所
-  階段
-  トイレ
-  駐車場
-  鉄塔・送電線
-  橋
-  行き止まり
-  いなさみどりバス  
停留所
-  炭 炭焼き場跡
-  県道
-  国有林道  
(進入禁止)

# かわなフォトロゲイニング《ポーズシート》

★★ チェックポイントでハイポーズ!! ★★

★得点の数え方★

チェックポイントの番号の  
よのひを以て得点の  
数え方とす

(例) 19 → 10点  
31 → 30点

10 本館の標高



11 3つの出会い



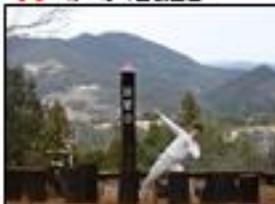
12 天体観測棟



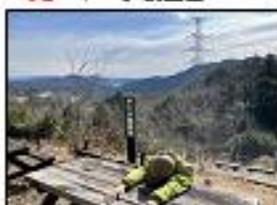
13 G炊飯棟



14 わんぼく山展望台



15 ポンタ展望台



16 ひじだま



17 ひれあひ門



18 Bファイヤー場



19 たぬきの森



20 第1ツツヅラ場



21 A炊飯棟



22 第2ツツヅラ場



23 ひよどり



24 307ツツヅラ場



25 受水槽(90t)



26 まひし谷



30 鉄塔



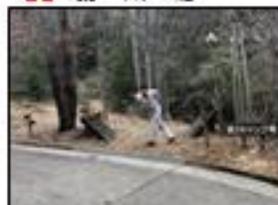
31 湯山展望台



32 くらやみ沢



33 第3ツツヅラ場



34 おそ瀬口



50 見おろし岩



51 こりすつづら



52 C-2テント



53 見晴台



100

霧山山頂

最高得点

100点だよ!





活動名		ネイチャーゲーム													
<p>— ネイチャーゲームとは? —</p> <p>米国のナチュラリスト「ジョセフ・コーネル」さんが、1979年に発表した自然体験プログラムの名称。</p> <p>人間の五感を用いた様々な活動を通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことを目的としている。</p>															
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や環境への理解が深まる。</li> <li>五感によるさまざまな自然体験が得られる。</li> <li>自然の美しさや面白さを発見できる。</li> <li>他者への思いやりや生命を大切にする心が育つ。</li> <li>感受性が高まる。</li> </ul>														
諸条件	場 所	ふれあい広場	対 象	幼児から大人まで											
	所要時間	1ゲーム毎30分間程度	人 数	1グループ40人まで											
	時 期	全シーズン	天 候	天候に合わせたゲーム展開											
	センター所員の支援	有・無 ※支援無で団体独自での実施も可	その他	団体に支援の手伝いをしていただく場合もあります											
準備物	センターが貸し出す物 各ゲームの種類による		団体（個人）が準備する物 特になし												
活動内容（手順）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th>内 容</th> <th>※進行：所員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td>                     始めの会 ※所員主導                      ① あいさつ～所員紹介                      ② ネイチャーゲームとは？                      ③ ながれと注意事項                 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>30分～</td> <td> <input type="checkbox"/> 1 チーム40人までとし、1ゲーム30分間程度行う。  <input type="checkbox"/> 2 チーム以上ある団体は、ローテーションでそれぞれのゲームを体験する。  <input type="checkbox"/> 途中、適宜トイレ休憩をはさむ。                 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>                     終わりの会 ※所員主導                      ① 振り返り                      ② あいさつ                 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			所要時間	内 容	※進行：所員	10分	始めの会 ※所員主導 ① あいさつ～所員紹介 ② ネイチャーゲームとは？ ③ ながれと注意事項		30分～	<input type="checkbox"/> 1 チーム40人までとし、1ゲーム30分間程度行う。 <input type="checkbox"/> 2 チーム以上ある団体は、ローテーションでそれぞれのゲームを体験する。 <input type="checkbox"/> 途中、適宜トイレ休憩をはさむ。		5分	終わりの会 ※所員主導 ① 振り返り ② あいさつ	
所要時間	内 容	※進行：所員													
10分	始めの会 ※所員主導 ① あいさつ～所員紹介 ② ネイチャーゲームとは？ ③ ながれと注意事項														
30分～	<input type="checkbox"/> 1 チーム40人までとし、1ゲーム30分間程度行う。 <input type="checkbox"/> 2 チーム以上ある団体は、ローテーションでそれぞれのゲームを体験する。 <input type="checkbox"/> 途中、適宜トイレ休憩をはさむ。														
5分	終わりの会 ※所員主導 ① 振り返り ② あいさつ														
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 天候の悪化による事故（雨による転倒等） <input type="checkbox"/> 熱中症による体調不良 <input type="checkbox"/> 山の環境による事故（転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等） <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）														

# ネイチャーゲーム 紹介

タイトル	<b>フィールドビンゴ</b>
概要	お題にそった自然物をさがすビンゴゲーム
実施場所	ふれあい広場やその周辺
貸出物	□ビンゴカード □鉛筆
ながれ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードのマスに書かれているお題や自然物を探し、ビンゴを目指す。</li> <li>・言葉や写真で示されているお題はその物を、色や形などが示されているお題はその特徴にあった物を探し出す。</li> <li>・探すエリアの範囲や活動時間の確認。</li> </ul> </li> <li>2 ゲーム <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力してビンゴのお題を探し出す。</li> </ul> </li> <li>3 振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴカードに書かれたお題の自然物を確認し合い、自然の豊かさや人によって見方や感じ方に違いのあることの話聞く。</li> </ul> </li> </ol>

タイトル	<b>カモフラージュ</b>
概要	自然の中にかくされた人工物を探し出すゲーム
実施場所	ふれあい広場やその周辺
貸出物	□各種人工物（鉛筆・空き缶・腕時計など）
ながれ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定されたエリア内の人工物を探し出すことの確認。</li> <li>・見つけても指でさしたり、声を出したりしない。</li> <li>・後戻りして見つけ出すことはしない。</li> <li>・ゴール後は見つけた数や場所を教え合ったりしない。</li> </ul> </li> <li>2 ゲーム <ul style="list-style-type: none"> <li>・間隔をあけ、順番に一人ずつスタートする。</li> <li>・探し出した数を、ゴールでリーダーに報告し、全員が終わるまで静かに待つ。</li> </ul> </li> <li>3 振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で人工物を確認し、生物の擬態についての話聞く。</li> </ul> </li> </ol>

タイトル	<b>ごちそうはどこだ（どんぐりはどこだ）</b> ※雨天実施可能
概要	隠したどんぐりを見つけ合うゲーム
実施場所	ふれあい広場とその周辺、本館、別館
貸出物	□どんぐり（木の实カード）
ながれ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のグループが隠したどんぐりを探し出すことの確認。</li> <li>・グループのどんぐりの数をそろえ、グループどんぐりを隠すエリアを確認する。</li> <li>・どんぐりを隠す場所は、野鳥が隠しそうな場所を選ぶ。</li> </ul> </li> </ol>



	<p>2 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーの「隠せ」の合図で、時間内に自分のグループのエリアにドングリを隠す。隠し終わったらグループで集まる。</li> <li>・次にリーダーの「探せ」の合図で、相手の隠したドングリを時間内に探す。終了の合図で集合し、相手のドングリをたくさん見つけたグループの勝ちとする。</li> <li>・最後に、自分たちの隠したドングリを回収する。</li> </ul> <p>3 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物がドングリを隠す貯食の意味や、回収しきれないドングリが新しい場所で芽を出すことの話聞く。</li> </ul>
--	---

タイトル	<b>目かくしトレイル (目かくしイモムシ)</b>	
概要	視覚以外の感覚を使って自然を探検するゲーム	
実施場所	ふれあい広場とその周辺	
貸出物	なし ※団体で目隠し用の手ぬぐい等を用意	
ながれ	<p>1 ルール説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目隠しなどで、視覚以外の感覚で自然を感じる体験の確認。 (目隠してグループが一列になり、リーダーの誘導で進む目隠しイモムシでウォーミングアップする方法もある。)</li> <li>・体験するエリアの特徴を見ないでおく。</li> </ul> <p>2 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の中に張られた1本のロープを頼りに、視覚以外の感覚を使いながら1人ずつ順番に探検する。</li> <li>・ゴールしたら、自分の歩いたコースと自分が歩いていた時感じたことを振り返ってみる。</li> </ul> <p>3 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚を閉ざすことで、聴覚、嗅覚、触覚がより敏感になり、深い自然とのふれあいを楽しむことについての話を聞く。</li> </ul>	

タイトル	<b>葉っぱジャンケン</b>	
概要	様々な葉っぱを集め、その葉でジャンケンするゲーム	
実施場所	ふれあい広場とその周辺	
貸出物	なし	
ながれ	<p>1 ルール説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた葉っぱで、リーダーのお題に一番近い葉っぱを出した人が勝つことを確認。</li> <li>・色や形、手触りが違う様々な葉っぱを集める。</li> </ul> <p>2 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数人のグループをつくり、リーダーの指示でじゃんけんを始める。</li> <li>・集めた葉っぱの中から、リーダーのお題に合った葉っぱを選び、リーダーの掛け声で葉っぱを見せ合うじゃんけんをする。</li> <li>・お題に一番合った葉っぱを出した人の勝ち。</li> <li>・グループで勝った葉っぱを他のグループと比べたり、ジャンケン相手やお題発表者を交代したりしてゲームを続ける。</li> </ul> <p>3 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形、手触りなど、これまで気づかなかった葉っぱの魅力や葉っぱの名前などの話を聞く。</li> </ul>	

タイトル	<b>動物交差点</b>	※雨天実施可能
概要	背中動物カードを仲間に質問しながら当てるゲーム	
実施場所	ふれあい広場とその周辺、本館、別館	
貸出物	□動物カード □洗濯ばさみ	
ながれ	<ol style="list-style-type: none"> <li>ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>背中に動物の名前が分からないようにカードをつけ、2人組をつくりゲームを始める。</li> <li>自分の背中動物を、いろいろな友達に質問しながらあてていくことを確認する。</li> <li>背中動物を互いに見せ合い、1回ずつ質問をして動物が何かを考える。質問は「羽はありますか。」「足は何本ですか。」のように簡単に答えることができる内容にする。</li> </ul> </li> <li>ゲーム <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに質問をし、分かった人はリーダーに答えを伝えに行く。分からなかった人は相手を変えて再び互いに質問する。</li> </ul> </li> <li>振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な内容の質問することで、動物の特徴や分類の仕方を幅広く知ることができる話を聞く。</li> </ul> </li> </ol>	

タイトル	<b>バットモス</b>	※雨天実施可能
概要	コウモリとガの食べる・食べられるの関係を体験しながら学ぶゲーム	
実施場所	ふれあい広場とその周辺・本館・別館	
貸出物	□なし ※団体で目隠し用の手ぬぐい等を用意	
ながれ	<ol style="list-style-type: none"> <li>ルール説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>10人程度のグループを作る。</li> <li>グループ中、1人が目隠しをしてバット（コウモリ＝食う側）役になる。</li> <li>グループ中、1～2人がモス（ガ＝食われる側）役になる。</li> <li>残りは手をつないで円を作る。</li> <li>バット役、モス役は円の中に入る。円役の人たちはバット役とモス役が外に出ないように囲いになる。</li> <li>バット役は超音波の代わりに「バット！」と叫ぶ。叫ばれたモス役は、超音波を跳ね返す代わりに「モス！」と叫ぶ。</li> <li>バット役は返答された声を頼りに、モス役を捕まえ捕食！</li> <li>グループ内で役を交代し、上記を繰り返す。</li> </ul> </li> <li>ゲーム <ul style="list-style-type: none"> <li>手をつないで囲いを作る。バット役とモス役の人が囲いの中に入り、ゲームをスタートする。</li> </ul> </li> <li>振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>自然界の食物連鎖や超音波で獲物を捕らえるガについての話を聞く。</li> </ul> </li> </ol>	

※所要時間…すべて30分間程度

参考資料

公益財団法人日本シェアリングネイチャー協会 <https://www.naturegame.or.jp/>

活動名	<b>自然散策（自然遊び・自然観察）</b>															
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物や動物を見つめたり、ふれあったりすることで、これまで知らなかった自然界の知恵に気づき、興味関心を高めることができる。</li> <li>五感をはたらかせながら散策し、植物や動物を観察したり、自然物で遊んだりしながら、自然環境の素晴らしさを感じ、自然を大切にしようとする心を育むことができる。</li> </ul>															
諸条件	場 所	すべてのフィールド	対 象	すべて												
	所要時間	60～90分間が適当		人 数	制限なし											
	時 期	全シーズン		天 候	荒天不可・雨天相談											
	センター所員の支援	有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/>		その他	所員支援有は要相談											
準備物	センターが貸し出す物		団体（個人）が準備する物													
	無線機（親機）×1台 無線機（子機）×14台 ※各上限 地図（必要に応じて）		<input type="checkbox"/> 自然観察資料 <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 水分                 等													
活動内容（手順）	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">所要時間</th> <th style="width:65%;">内 容</th> <th style="width:20%;">※進行：所員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td>始めの会（P2参照）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45～90分間</td> <td>自然散策（主に自然物遊びや自然観察）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>終わりの会（P2参照）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				所要時間	内 容	※進行：所員	10分	始めの会（P2参照）		45～90分間	自然散策（主に自然物遊びや自然観察）		10分	終わりの会（P2参照）	
所要時間	内 容	※進行：所員														
10分	始めの会（P2参照）															
45～90分間	自然散策（主に自然物遊びや自然観察）															
10分	終わりの会（P2参照）															
想定されるリスク	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 天候の悪化による事故（落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等）</li> <li><input type="checkbox"/> 疲労による事故（熱中症含む）</li> <li><input type="checkbox"/> 山の環境による事故（転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等）</li> <li><input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）</li> </ul>															

# 自然散策（自然遊び、自然観察）について

自然豊かなかわなには、野草や樹木などの植物、昆虫や野鳥などの動物と数多くの生物が観察できます。また、森の再生につながる天然更新や光を奪い合う植物間の競争も観察することができます。自然観察しながら自然遊びを行うことで、五感を研ぎ澄ます活動を楽しむことができます。

## ○自然遊び

場内を散策しながら、植物を使って工作をしたり遊んだり、動植物に触れながら観察する活動を行います。活動を通して五感を研ぎ澄ますことができたり、自然の様々なことに気づいたりすることができます。

### 【活動例】

- ・私の宝物（指定された自然物を探す）
- ・ドングリの工作や遊び、葉っぱや落ち葉遊び（フロッタージュやお絵かき）
- ・落ち葉遊び（落ち葉のシャワー、顔に似た落ち葉さがしなど）
- ・森の福笑い（葉っぱや小枝を使った福笑い）
- ・ウラジロの葉っぱ遊び（グライダーで飛ばす、ハネのように跳ねさせて遊ぶ）
- ・種子飛ばし（ウリカエデやマツ、紙模型の種子を飛ばして遊ぶ）
- ・葉っぱの匂いをかいてみよう（サンショ、ヤブニッケイ、クロモジ）
- ・大きな木の赤ちゃん探し
- ・昆虫の追いかけごっこ（チョウ、バッタなど）

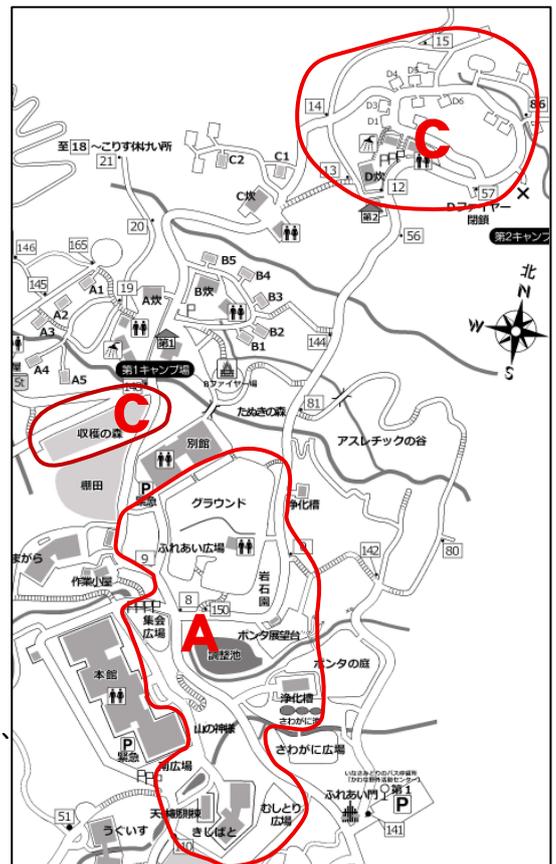
※【活動例】以外の自然遊びについては、所員におたずねください。

## ○自然観察

### 1 植物の観察

#### Aエリア…本館周辺～ふれあい広場周辺

- ・マツボックリ…アカマツ、クロマツ、テダマツ
- ・ドングリ…コナラ、アベマキ、クヌギ、アラカシ
- ・匂いが強い…サンショウ、イヌザンショウ、クロモジ、ヤブニッケイ、キンモクセイ
- ・赤い実…ガマズミ、コバノガマズミ、ヤブコウジ、マンリョウ、ナンテン、ソヨゴ、クロガネモチ、モッコク
- ・白っぽい花…アセビ（赤）、エゴノキ、コブシ、ヤマボウシ、ウメ（赤）、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、
- ・赤い花…ヤブツバキ、ボケ、ヒガンバナ、モチツツジ
- ・黄色い花…キンシバイ、ビヨウヤナギ、アオモジ
- ・紫色の実…ムラサキシキブ、ヤブムラサキ
- ・和紙の原料…コウゾ、ミツマタ
- ・針葉樹…スギ、ヒノキ、モミ、アスナロ
- ・紅葉…イロハモミジ、ドウダンツツジ、ヤマガキ
- ・特徴のある木…ハナイカダ（葉に花）、モチツツジ（葉の両面に腺毛）、ヒノキバヤドリギ（半寄生植物）
- ・その他…ケヤキ、サカキ、ヒサカキ、ツチアケビ、ホオノキ、タラノキ、フジ、ヒイラギ、エンコウカエデなど
- ・それぞれの季節に色づく野草も多く見られます。



## Bエリア…収穫の森

- 秋に実をつける木…クルミ、クリ、カキ、ダイダイ（柑橘類）、クヌギ
- シイタケ（収穫の森の西側で栽培）
- リスの採餌跡がみられるクルミ
- 腐葉土（葉、山の土、米ぬかで作ったものと葉っぱのみで作った腐葉土の違い）

## Cエリア…緑陰広場

- 樹齢100年前後のスギとヒノキの人工林が広がり、下層にはヒイラギ、マンリョウ、クロモジ、マムシグサ、コケ類が広がり独特の雰囲気があります。また、地面からだけではなく倒木からスギやヒノキの幼樹が成長している『倒木更新』が見られます。
- 植物観察だけでなく、野鳥のさえずりやスギの香りを楽しむ森林浴も体験できます。

## 2 動物の観察

四季折々の「かわなの自然」では、森、樹木、葉、草、土の中で、多くの動物たちが生活しています。また、虫の居場所となる『エコスタック』も設置していますので、静かに観察してみましよう。

### ◎草原や林

モンシロチョウ、アゲハチョウ、アサギマダラ、ガ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、オニヤンマ、アカトンボ、カマキリ、コオロギ、アリ、テントウムシ、カマドウマ、ウスバカゲロウなど

### ◎沢や池、水辺

ゲンジボタル、ハイケボタル、アメンボ、アカハライモリ、カエル（モリアオガエル、トノサマガエル、メダカ、ホトケドジョウ、ヤゴ、サワガニ、モクスガニなど

### ◎森の中

クワガタムシ、カブトムシ、カミキリムシ、タマムシ、スズメバチ、セミ、カナブン、カメムシ、ミミズやアリなどの小動物（土の中）、シカ、イノシシ、ノウサギ、リス、タヌキなど

### ◎野鳥

○留鳥（よく見られる野鳥）

アオゲラ、イカル、ウグイス、エナガ、カケス、カラス、キジバト、キセキレイ、コゲラ、コジュケイ、シジュウカラ、ツバメ、トビ、ヒヨドリ、ホトトギス、メジロ、ヤマガラなど

○季節に影響される野鳥

夏…アカショウビン、キビタキ、サンコウチョウ、ツバメ

冬…ジョウビタキ

### ◎動物の痕跡

○リス…クルミの食べ跡、マツボックリの食べ跡（エビフライ）

○イノシシ…道路脇の土を掘った跡

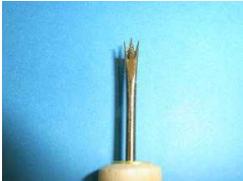
○シカ…木での角研ぎ（本所ではネムノキに多く見られる）

活動名	<b>クラフト</b>																			
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然素材を使うことで、肌で自然を感じて親しみをもったり、創造性を養ったりすることができる</li> <li>手作りで思い出を作成することで、用具の扱いを学びながら自ら完成させた達成感を味わうことができる。</li> </ul>																			
諸条件	場 所	室内	対 象	種類による																
	所要時間	種類による	人 数	種類により制限あり																
	時 期	全シーズン	天 候	全天候可																
	センター所員の支援	(有) ・ 無		その他																
準備物	センターが貸し出す物 各クラフトの種類による		団体(個人)が準備する物 □筆記用具(主に記名用) □作品を持ち帰る袋																	
活動内容(手順)	<table border="1"> <tr> <td>所要時間</td> <td colspan="3">内 容 ※進行：所員</td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td colspan="3">始めのあいさつ～所員紹介</td> </tr> <tr> <td>40～160分</td> <td colspan="3">クラフト9種類 ※下図参照(所要時間は活動による)</td> </tr> <tr> <td>15分</td> <td colspan="3">片付け(団体全員)～終わりのあいさつ</td> </tr> </table>				所要時間	内 容 ※進行：所員			5分	始めのあいさつ～所員紹介			40～160分	クラフト9種類 ※下図参照(所要時間は活動による)			15分	片付け(団体全員)～終わりのあいさつ		
所要時間	内 容 ※進行：所員																			
5分	始めのあいさつ～所員紹介																			
40～160分	クラフト9種類 ※下図参照(所要時間は活動による)																			
15分	片付け(団体全員)～終わりのあいさつ																			
想定されるリスク	口けが(板のとげが刺さる、のこぎり・キリなど用具での裂傷など)																			

活動名		荒天時代替種	定員	団体が準備する物
1 ウッドペイント		○		場合により色ペン
竹 細 工	2 うぐいす笛	○	165人迄	
	3 竹とんぼ	×	40人迄	
4 木の実クラフト		○	30人迄	持ち帰り用ビニール袋
5 ウッドクリップ		○		場合により色ペン
6 絵手紙		○	70人迄	場合によりサインペン
7 すべすべストラップ(杉板・輪切材)		○		
8 バードコール		○		場合により色ペン
9 小枝ストラップ		○		場合により色ペン

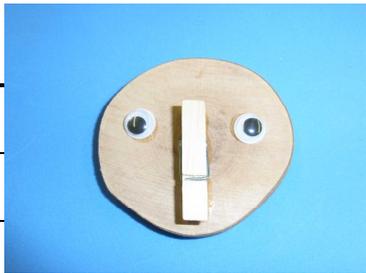
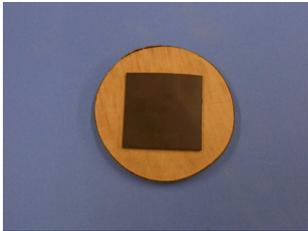
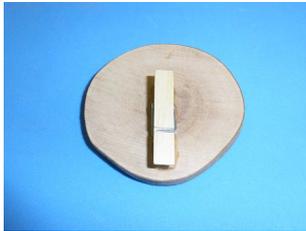
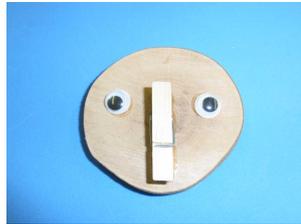
※ 荒天時に晴天時の代替えで実施する場合は1種目のみ選択が可能です。

タイトル	<b>ウッドペイント (ウッドマグ)</b>	
対象	幼稚園児以上	
所要時間	2時間程度	
貸出用具	<input type="checkbox"/> 鉛筆 <input type="checkbox"/> 筆 <input type="checkbox"/> パレット <input type="checkbox"/> 水入れ容器 <input type="checkbox"/> ニス用容器 <input type="checkbox"/> はけ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ドライヤー <input type="checkbox"/> 雑巾	
材 料	<input type="checkbox"/> 木片 <input type="checkbox"/> ニス <input type="checkbox"/> 絵の具	
作 り 方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 木片に心に残ったことを、鉛筆で絵や文字に表す。            ※木片の裏に、「作成日と自分の名前」を記入する。            ※裏に磁石を付けることも可能(ウッドマグ)</li> <li>2 筆と絵の具を使って、木片に文字や絵をかぐ。</li> <li>3 文字や絵が乾いたら、ニスを塗る。            ※ニスを塗る前に、必ず文字や絵が乾いているかを確認する。</li> <li>4 広げた新聞紙の上に置いて、乾燥させる。</li> </ol>	  

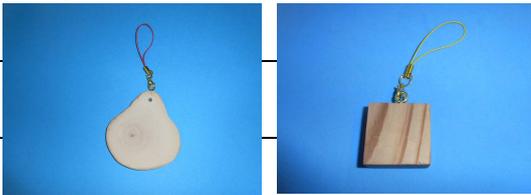
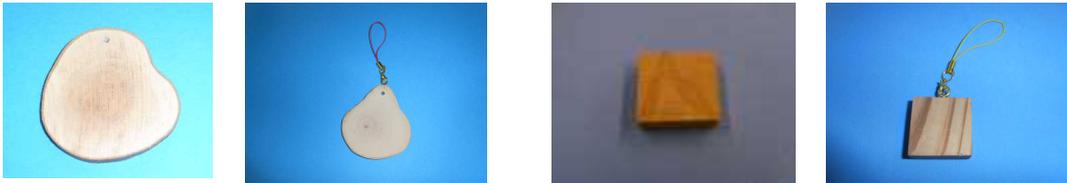
タイトル	<b>うぐいす笛</b>	
対象	小学校4年生以上	
所要時間	2時間程度	
貸出用具	<input type="checkbox"/> 小刀 <input type="checkbox"/> きり(ねずみ) <input type="checkbox"/> 紙ヤスリ <input type="checkbox"/> 竹ひご <input type="checkbox"/> 接着剤(瞬間接着剤が適している) <input type="checkbox"/> 穴あけ用台 <input type="checkbox"/> 鉛筆	
材 料	<input type="checkbox"/> 竹A(長さ80mm程度、外形15mm程度) <太めの竹> <input type="checkbox"/> 竹B(長さ80mm程度、外形10mm程度) <細めの竹> ※中の薄い白い膜を竹ひごで取り除く。 ※竹は、乾燥させたものを使うとよく響く音がする。	
作 り 方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 太い竹Aを穴あけ用台に押し当てて動かないようにして、中央にきりで穴(直径5mm程度)をあける。            ※二人組で行い、一人が竹Aを押さえ、もう一人が穴をあける。</li> <li>2 竹Aの穴のあいた部分を小刀で削って平らにする。</li> <li>3 細い竹Bを小刀を使って、斜めに削る。先の部分が少し平らになるように調整する。            ※竹A、竹Bの削った部分に紙ヤスリをかけるとよい。</li> <li>4 細い竹Bを太い竹Aの平らな部分をスライドさせ、位置を調整して、音がよく出る位置に接着剤で固定する。            ※接着剤が乾くまで、1分程度固定する。</li> </ol>	   

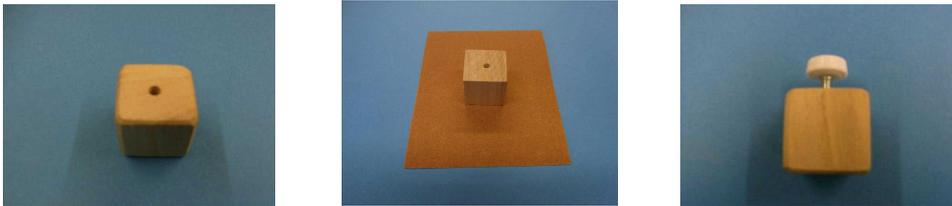
タイトル	<b>竹とんぼ</b> ※雨天時の活動の代替実施は不可		
対象	小学校5年生以上		
所要時間	2～3時間程度		
貸出用具	□小刀 □きり □紙ヤスリ □雑巾（膝当て用） □定規 □鉛筆		
材料	□竹A（軸 180mm×10mm） □竹B（羽根 150mm×20mm）		
作り方	<ol style="list-style-type: none"> <li>竹B（羽根）の幅と長さを測り、中央にきりで穴をあける。</li> <li>羽根を削る。 ※右と左の形、厚み、形状が違っているとバランスが悪くて飛び方が悪くなる。</li> <li>軸を作る。竹A（軸）は、中心にあけた穴より少し太く仕上げ、穴に挿す部分だけ細くして穴に合わせる。</li> <li>組み立てる。できあがった軸を羽根に挿せば完成。 ※羽根の角度や重さなどの加減で、飛び方が変わるので、広いところで飛ばす。納得いくまで何度も修正しましょう。</li> </ol>		
			
			

タイトル	<b>木の実クラフト</b>		
対象	小学生以上（園児要相談）	場所	別館第1クラフト室
所要時間	2時間程度	備考	人数制限…6人×5グループ迄
貸出用具	□延長コード □新聞紙 □ホットボンド □ホットボンド用スティック □サインペン		
材料	□台木 □名札木 □各種木の实（コウヨウガシ、モミジワウ、トナリ、ツバキ、マツ等）		
作り方	<ol style="list-style-type: none"> <li>机の上に新聞紙をしき、台木、名札木を各自1個ずつ用意する。</li> <li>置物のデザインを構想し、木の実の材料を用意する。</li> <li>ホットボンドを用意して、名札木、木の実を接着する。</li> </ol>		
			

タイトル	<b>ウッドクリップ</b>	
対象	幼稚園児以上	
所要時間	1時間程度	
貸出用具	□ピンセット	
材料	□木片 □木製ピンチ □動眼 □紙やすり □接着剤 □マグネットテープ	
作り方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 木片の表面を紙やすりですべすべに磨く。</li> <li>2 木片の裏側にマグネットテープをはる。</li> <li>3 鼻の位置に木製ピンチ、目の位置に動眼2個を接着する。 ※サインペン等で装飾を追加することも可能（利用団体が用意）</li> </ol>	  

タイトル	<b>絵手紙</b>	
対象	小学校4年生以上	
所要時間	2時間程度	
貸出用具	□中濃墨液 □半紙（練習用） □ボックスティッシュ □雑巾 □絵の具セット □筆洗いバケツ □パレット □筆（毛筆用、絵画用）	
材料	□和画仙紙ハガキ	
作り方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 半紙に筆を立て、墨で線を書く練習をする。</li> <li>2 和画仙紙ハガキの上下に注意する。</li> <li>3 描きたい物を、自然の中から探す。</li> <li>4 墨でかく。</li> <li>5 色をつける。</li> <li>6 伝えたい気持ちを言葉に表す。</li> </ol>	  

タイトル	<b>すべすべストラップ (輪切・杉板材)</b>		
対象	幼稚園児以上		
所要時間	1時間程度		
貸出用具	□きり (電気ドリル) □延長コード		
材料	□輪切・杉板材各1個 □紙やすり2枚 □ストラップひも (ヒートン等)		
作り方	<p>1 輪切材の上部にきり (電気ドリル) で穴を開ける。(杉板材は下記)          ※園児・低学年児童は、きり等を使わない杉板材使用がおすすめ!</p> <p>2 材の表面及び、角を紙やすりで磨く。</p> <p>3 ストラップひもを付ける。          ※杉板を使用する場合は、ヒートンにストラップひもを付ける。          ※「輪切材」か「杉板」のどちらを使用するか、事前に連絡してください。</p> <p>＜輪切ストラップ＞ <span style="margin-left: 150px;">＜杉板ストラップ＞</span></p> 		

タイトル	<b>バードコール</b>	
対象	幼稚園児以上	
所要時間	1時間程度	
貸出用具	□電気ドリル (2～3台) □延長コード	
材料	□木片 □ねじ □紙やすり	
作り方	<p>1 電気ドリルで木片に穴をあける。</p> <p>2 紙やすりで木片の角を取ったり、表面を磨いたりする。</p> <p>3 ねじを差し込み、音の出方を調整する。          ※ゴム印で飾り付けをすることも可能。</p> 	

タイトル	<h1>小枝ストラップ</h1>		
対象	幼稚園児以上		
所要時間	1時間程度		
貸出用具	<input type="checkbox"/> ピンセット <input type="checkbox"/> 瞬間接着剤（ゼリー状） <input type="checkbox"/> つや出しニス <input type="checkbox"/> 四つ目きり <input type="checkbox"/> やすり		
材 料	<input type="checkbox"/> 小枝（主にサクラ）×1 <input type="checkbox"/> ヒートン×1 <input type="checkbox"/> 付箋（記名用） <input type="checkbox"/> 手芸用目玉×2 <input type="checkbox"/> ストラップひも×1		
作 り 方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小枝にヒートンを取り付ける。</li> <li>2 ヒートンにストラップひもを取り付ける。</li> <li>3 小枝に瞬間接着剤をつけ、手芸用目玉を取り付ける。</li> <li>4 つや出しニスに漬け、垂れてこないようによくきる。</li> <li>5 十分に乾かし、完成させる。</li> </ol> <p>※鼻や口をつけることもできます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>		

<p>活動名</p>	<h1>キャンプファイヤー</h1>									
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームやスタンプを通し、友達と親睦を深めることができる。</li> <li>・ キャンプファイヤーの企画や運営を通し、リーダー性や協調性を養うことができる。</li> <li>・ 静寂の中、こうこうと燃える炎を見つめながら、自分の心を見つめ直すことができる。</li> </ul>									
<p>☆滞在期間始めの日程で行うと…緊張をほぐし、親睦を深める効果                  ☆滞在期間最後の日程で行うと…活動のまとめや自己を深く見つめる効果</p>										
<p>諸条件</p>	<p>場 所：ファイヤー場×2カ所</p> <p>所要時間：90～120分間</p> <p>時 期：4月～11月第1金曜日迄</p> <p>センター所員の支援 有 ・ <b>無</b></p>	<p>対 象：すべて</p> <p>人 数：制限なし</p> <p>天 候：少雨可（雨天時は相談）</p> <p>その他：事前に井桁を組む必要有</p>								
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物</p> <p><input type="checkbox"/> 火の神衣装セット×1人分                  セット内容 <input type="checkbox"/> 天狗お面 <input type="checkbox"/> 白装束  <input type="checkbox"/> 腰ひも <input type="checkbox"/> うちわ  <input type="checkbox"/> 木の杖</p> <p><input type="checkbox"/> 巫女衣装セット×2人分                  セット内容 <input type="checkbox"/> 冠 <input type="checkbox"/> 白装束  <input type="checkbox"/> 腰ひも</p> <p><input type="checkbox"/> 着火用ライター</p> <p><input type="checkbox"/> マイクアンプセット                  セット内容 <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> アンプ                  ※CDやカセットテープ、Bluetooth等の音楽出力非対応</p> <p><input type="checkbox"/> 延長コード</p>	<p>団体（個人）が準備する物</p> <p><input type="checkbox"/> ファイヤー用薪セット                  ※要注文購入</p> <p><input type="checkbox"/> トーチ棒                  ※要注文購入（持込み可）</p> <p><input type="checkbox"/> ミュージックプレイヤーと音源</p> <p><input type="checkbox"/> 軍手</p> <p><input type="checkbox"/> 新聞紙</p> <p><input type="checkbox"/> 懐中電灯</p> <p>※マイクアンプは団体持参をすすめます。事前に練習で使った機材は、暗闇の中でも間違いなく操作したり、細かく演出したりできるので、安心です。</p>								
<p>活動内容（手順）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60分</td> <td>                     準備～リハーサル  <input type="checkbox"/> 事務室で借用物の受け取り  <input type="checkbox"/> ファイヤー場で購入物を確認  <input type="checkbox"/> 団体にセッティング  <input type="checkbox"/> 役割分担に応じてリハーサルを実施                 </td> </tr> <tr> <td>90～100分</td> <td>                     第1部…迎火                      ① 開会～火の神入場                      ② ♪遠き山に日は落ちて                      ③ 火の神入場                      ④ 火の神の言葉～分火・誓いの言葉～点火                      ⑤ ♪燃えろよ燃えろ                      第2部…交歓（レクリエーション・スタンプ・歌 等）                      第3部…送火                      ① 火の神の言葉                      ② ♪今日の日はさようなら                      ③ 火の神退場～閉会                 </td> </tr> <tr> <td>45分</td> <td>                     片付け（団体指導者）  <input type="checkbox"/> 消火と針金の除去  <input type="checkbox"/> 事務室へ借用物の返却                 </td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容	60分	準備～リハーサル <input type="checkbox"/> 事務室で借用物の受け取り <input type="checkbox"/> ファイヤー場で購入物を確認 <input type="checkbox"/> 団体にセッティング <input type="checkbox"/> 役割分担に応じてリハーサルを実施	90～100分	第1部…迎火 ① 開会～火の神入場 ② ♪遠き山に日は落ちて ③ 火の神入場 ④ 火の神の言葉～分火・誓いの言葉～点火 ⑤ ♪燃えろよ燃えろ 第2部…交歓（レクリエーション・スタンプ・歌 等） 第3部…送火 ① 火の神の言葉 ② ♪今日の日はさようなら ③ 火の神退場～閉会	45分	片付け（団体指導者） <input type="checkbox"/> 消火と針金の除去 <input type="checkbox"/> 事務室へ借用物の返却
所要時間	内 容									
60分	準備～リハーサル <input type="checkbox"/> 事務室で借用物の受け取り <input type="checkbox"/> ファイヤー場で購入物を確認 <input type="checkbox"/> 団体にセッティング <input type="checkbox"/> 役割分担に応じてリハーサルを実施									
90～100分	第1部…迎火 ① 開会～火の神入場 ② ♪遠き山に日は落ちて ③ 火の神入場 ④ 火の神の言葉～分火・誓いの言葉～点火 ⑤ ♪燃えろよ燃えろ 第2部…交歓（レクリエーション・スタンプ・歌 等） 第3部…送火 ① 火の神の言葉 ② ♪今日の日はさようなら ③ 火の神退場～閉会									
45分	片付け（団体指導者） <input type="checkbox"/> 消火と針金の除去 <input type="checkbox"/> 事務室へ借用物の返却									
<p>想定されるリスク</p>	<p><input type="checkbox"/> けが（準備段階での丸太や薪などで指を挟む、とげが刺さる 等）</p> <p><input type="checkbox"/> やけど（衣類に火が燃え移る、火の粉が体や衣類につく、トーチの布が緩んで落ちる 等）</p> <p><input type="checkbox"/> 転倒（主に第2部での暗闇の中の活動中、現地への移動時 等）</p> <p><input type="checkbox"/> 乾燥や強風による山火事（主に4～5月にかけて）</p>									



# キャンプファイヤーについて

キャンプファイヤーは、神秘的かつ厳粛な雰囲気をかもし出すことができるついでです。ファイヤーを囲んで仲間との絆を深めたり、思い出を語ったりすることができます。真っ暗な闇の中に浮かび上がる炎を囲みながら、歌やゲームで思い切り自分自身を発揮したり、静かに炎を見つめたりしながら、普段では得がたい感動的なひとときにひたることができます。

## 1 準備

### (1) ファイヤー場の選択

当センターにはファイヤー場が2か所あります。下表を参考に下見をし、事前打ち合わせで活動場所を決定しましょう。

	最大人数	神のいす	松いす	電源	照明	散水栓	消火栓
メインファイヤー場	363人	1脚	121脚	○	○	○	○
Bファイヤー場	240人	1脚	80脚	○	○	○	○

※最大人数は松いす1脚につき最大3人が座る想定で算出しています。

### (2) ファイヤー薪セットの選択

当センターで購入できるファイヤー用薪セットは、井桁型に適しています。ファイヤー用薪セットは下表を参考に事前打ち合わせで決定しましょう。

	活動時間	丸太：太	丸太：細	枝束	燃料用薪	灯油
Aセット	約120分間	4本	8本	4束	1ケース	2L
Bセット	約90分間		12本	3束	1ケース	2L

※活動時間が50分程度の場合は、Cセットを選ぶことができます。  
詳しくは料金表あるいは物品注文書をご覧ください。

### (3) 井桁の組み方

組み方には「井桁型」の他、「ダイヤモンド型」「インディアン型」「スター型」などがあります。

ここでは、当センターがおすすめしている「井桁型」の組み方を紹介します。

1	<p>① 購入されたファイヤー薪セットは、選択したファイヤー場に所員が準備します。</p> <p>② 団体で細い丸太12本をならべ、太さや形を確認します。</p>	
2	<p>① まず安定した太めの丸太を選びます。</p> <p>② 選んだ太めの丸太を井桁型に組みます。</p>	
3	<p>① 一段目の丸太の上に枝薪を並べます。</p> <p>② 枝のすき間が風の通り道になります。</p>	
4	<p>① 2段3段と組む際に、少しずつ内側に丸太を乗せます。横から見るとどの面も「台形」のような形になります。</p> <p>② 台形にすることにより、最後の枝束を「円すい形」にしやすくなります。</p> <p>③ そうすることで、燃え尽きたときも内側に美しく崩れ、雰囲気が高まります。</p>	
5	<p>① 1段目に並べた枝薪の土台に乗せるように、燃料用薪の一部を差し込みます。</p> <p>② この際も、つめすぎて風の通り道がなくならないように注意しましょう。</p>	
6	<p>① 最後に、枝束を「円すい形」になるように差し込んでいきます。</p> <p>② この際も、つめすぎないことや、周りの丸太のバランスをくずさないことを注意しましょう。</p>	

※上記説明は「Bセット」の数量で設定。



## (1) 集合・整列

- ① ファイヤー場の手前に参加者を集合させる。
- ② 全体指導は以下の通り
  - ・人員点呼
  - ・健康観察
  - ・入場は心を落ち着け穏やかに

## (2) 第1部 迎火(点火のセレモニー)

【10~20分】

- ① はじめの言葉
- ② 火の神入場
  - ・♪「遠き山に日は落ちて」を全員で歌い、火の神を迎える。
  - ・火の神は、火の巫女に先導され、会場を時計と反対回りで一周し、定位につく。
- ③ 火の神の言葉
- ④ 分火の儀式
  - ・代表の火の守はトーチを持ち、火の神の前に膝まづく
  - ・火の神→火の守
- ⑤ 点火
  - ・火の神の発声により、火の巫女と火の守が井桁に点火する。
- ⑥ エールマスターの言葉
  - ・♪「燃えろよ燃えろ」を全員で歌う。

## (3) 第2部…交歓

【40~60分】

- ① レクマスターの司会進行で、出し物を披露する。
  - ・レクリエーション(ゲーム・ダンス)
  - ・スタンプ(グループ・クラス毎に)
  - ・歌
- ② 第2部最後の出し物の前に、巫女は衣装を着て、新しいトーチを準備し、火の神の前に移動する。

## (4) 第3部…送火

【10~20分】

- ① エールマスターの言葉
- ② 採火の儀式
  - ・火の神の言葉
- ③ 火の神退場
  - ・♪「今日の日はさようなら」を全員で歌い、火の神を送る。
  - ・火の神は火の巫女に先導され、会場を一周して退場する。
- ④ 終わりの言葉

## (5) 退場・振り返り

- ① 3部の余韻が残るように静かに集合した場所まで移動する。
- ② しおりに感想を記入すると、思い出が残るとともに、集いの中で感じたことや考えたことを振り返ることができる。

## 盛り上げるポイント

- ★ 火の勢い … 第1部 = 大きく炎を立てない程度  
第2部 = 炎を勢いよく  
第3部 = 薪が燃え尽き、<sup>お</sup>熾きになっているのが理想
- ★ 活動時間 … 長すぎないように留意。1時間30分程度で余韻を残す。

活動名	キャンドルのつどい									
概要と期待できる教育的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームやスタンプを通し、友達と親睦を深めることができる。</li> <li>・ キャンドルのつどいの企画や運営を通し、リーダー性や協調性を養うことができる。</li> <li>・ 静寂の中、ゆらゆらと燃える火を見つめながら、自分の心を見つめ直すことができる。</li> </ul>									
☆滞在期間始めの日程で行うと…緊張をほぐし、親睦を深める効果 ☆滞在期間最後の日程で行うと…活動のまとめや自己を深く見つめる効果										
諸条件	場 所：本館体育室・別館大ホール	対 象：すべて								
	所要時間：90～120分間	人 数：制限なし								
	時 期：通年	天 候：いつでも可								
	センター所員の支援 有 ・ <b>無</b>	その他：場所代に別途利用料が必要								
準備物	センターが貸し出す物 <input type="checkbox"/> 火の神衣装セット×1人分 セット内容 <input type="checkbox"/> 天狗お面 <input type="checkbox"/> 白装束 <input type="checkbox"/> 腰ひも <input type="checkbox"/> うちわ <input type="checkbox"/> 木の杖 <input type="checkbox"/> 丸太いす <input type="checkbox"/> 巫女衣装セット×2人分 セット内容 <input type="checkbox"/> 冠 <input type="checkbox"/> 白装束 <input type="checkbox"/> 腰ひも <input type="checkbox"/> マイクアンプセット セット内容 <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> アンプ <input type="checkbox"/> 延長コード <input type="checkbox"/> 燭台セットと回収用バケツ セット内容 <input type="checkbox"/> 燭台（特大・大・小） <input type="checkbox"/> 会場燭台用ブルーシート <input type="checkbox"/> チャッカマン <input type="checkbox"/> ものさし（片付け時にろうをとるため）	団体（個人）が準備する物 <input type="checkbox"/> ろうそく燭台用 ※有料レンタル形式にて要注文 <input type="checkbox"/> ろうそく個人用 ※要注文購入（持込み可） <input type="checkbox"/> ミュージックプレイヤーと音源 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ※センターで貸し出すアンプは、CDやカセットテープ、Bluetooth等の音楽出力非対応となっています。                     </div> <div style="margin-top: 10px;">                         ※マイクアンプは団体持参をすすめます。事前に練習で使った機材であれば、暗闇の中でも間違いなく操作したり、細かく演出したりできるので安心です。                     </div>								
活動内容（手順）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">所要時間</th> <th style="width: 85%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">60分</td> <td>                             準備～リハーサル  <input type="checkbox"/> 事務室で借用物の受け取り  <input type="checkbox"/> 会場で購入物を確認  <input type="checkbox"/> 団体でセッティング  <input type="checkbox"/> 役割分担に応じてリハーサルを実施                         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90～100分</td> <td>                             第1部…迎火                              ① 開会～火の神入場                              ② ♪遠き山に日は落ちて                              ③ 火の神入場                              ④ 火の神の言葉～分火・誓いの言葉～点火                              ⑤ ♪ほしかげさやかに                              第2部…交歓（レクリエーション・スタンプ・歌 等）                              第3部…送火                              ① 火の神の言葉                              ② ♪今日の日はさようなら                              ③ 火の神退場～閉会                         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">45分</td> <td>                             片付け（団体指導者）  <input type="checkbox"/> ろうそくと燭台の分別～レンタルろうそく返却  <input type="checkbox"/> 事務室へ借用物の返却                         </td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容	60分	準備～リハーサル <input type="checkbox"/> 事務室で借用物の受け取り <input type="checkbox"/> 会場で購入物を確認 <input type="checkbox"/> 団体でセッティング <input type="checkbox"/> 役割分担に応じてリハーサルを実施	90～100分	第1部…迎火 ① 開会～火の神入場 ② ♪遠き山に日は落ちて ③ 火の神入場 ④ 火の神の言葉～分火・誓いの言葉～点火 ⑤ ♪ほしかげさやかに 第2部…交歓（レクリエーション・スタンプ・歌 等） 第3部…送火 ① 火の神の言葉 ② ♪今日の日はさようなら ③ 火の神退場～閉会	45分	片付け（団体指導者） <input type="checkbox"/> ろうそくと燭台の分別～レンタルろうそく返却 <input type="checkbox"/> 事務室へ借用物の返却
所要時間	内 容									
60分	準備～リハーサル <input type="checkbox"/> 事務室で借用物の受け取り <input type="checkbox"/> 会場で購入物を確認 <input type="checkbox"/> 団体でセッティング <input type="checkbox"/> 役割分担に応じてリハーサルを実施									
90～100分	第1部…迎火 ① 開会～火の神入場 ② ♪遠き山に日は落ちて ③ 火の神入場 ④ 火の神の言葉～分火・誓いの言葉～点火 ⑤ ♪ほしかげさやかに 第2部…交歓（レクリエーション・スタンプ・歌 等） 第3部…送火 ① 火の神の言葉 ② ♪今日の日はさようなら ③ 火の神退場～閉会									
45分	片付け（団体指導者） <input type="checkbox"/> ろうそくと燭台の分別～レンタルろうそく返却 <input type="checkbox"/> 事務室へ借用物の返却									
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> けが（準備段階で燭台を足に落とす、燭台の釘が刺さる） <input type="checkbox"/> やけど（衣類に火が燃え移る、ろうが皮膚につく） <input type="checkbox"/> 転倒（主に第2部での暗闇の中の活動中）									



# キャンドルのつどいについて

キャンドルのつどいは、神秘的かつ厳粛な雰囲気をかもし出すことができるつどいです。ろうそくの灯が放つ雰囲気は、参加者を非日常へと誘います。BGMや歌にのせて語る叙情的なナレーションを聴いたり、ろうそくの灯を見ながら振り返りをしたりする体験ができ、つどいを通して普段では得がたい感動的なひとときを味わうことができます。

《初めての方へ》

- 基本的な流れは、キャンプファイヤーと同様です。
- 第2部では、中央に設置した燭台を片づけ、安全を確保します。
- 場面によっては室内照明が利用できます。
- 1人1人が個人用燭台を持ち、分火していく印象深さが醍醐味です。

## 1 準備

### (1) 会場の選択

集いの場は原則以下の通りです。

本部が本館にある団体 → 本館 体育室

本部が別館にある団体 → 別館 多目的ホール

※事前打ち合わせ時に会場を決定します。

### (2) 事前指導のお願い…「ろうそくの火の受け渡し方」



①やけどをしないように！

②火のついているろうそくは絶対に傾けないこと！

③火のついていないろうそくを傾けて火をもらうこと！

④床にろうそくを垂らさないように！

伝達例…「火のついていないろうそくを持っている人へ。火のついている人のろうそくに自分のろうそくを近づけて火をもらいましょう。」

「火のついているろうそくを持っている人へ。そのろうそくを絶対に傾けず、まっすぐ立てたまま持っています。」

### (3) 会場での準備

#### ①火の神用の丸太いす

□通常は北極星を背にする位置にします。

□当センターでは国旗側を背にした位置に置くことが多いです。

## ②ろうそく



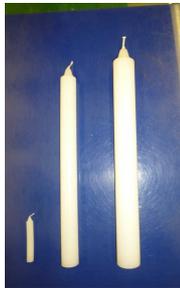
### 燭台（特大）

- まず下にブルーシートを敷きます。
- 次に中ろうそくを、巫女用に2本、火の守（誓いの言葉）用に必要本数を準備します。
- 最後に大ろうそく1本を設置し、中ろうそく8本をバランスよく配置します。（例参照）

（例）巫女2人・火の守4人の場合

レンタル総本数15本－（中6本）＝9本

→燭台（特大）に、9本（大1本、中8本）を設置します。



### 使用するろうそく

右から

- ・ろうそく（大）…レンタル
- ・ろうそく（中）…レンタル
- ・個人用ろうそく（小）…販売品



### 燭台（大）

- 火の巫女用と火の守用です。
- レンタルのろうそくを差し込みます。



### 燭台（小）

- 販売品の個人用ろうそくを準備します。
- 燭台（小）についている釘に、個人用ろうそくを差し込みます。
- ※強く差し込むと折れてしまいます。注意しましょう。



- ※個人用ろうそくは、会場の窓側に置いておきます。
- 班ごとに表示を用意しておき、その用紙の上に人数分を置くと分かりやすいです。

### ③リハーサル

#### アンプ関係

- CDデッキをアンプに接続し、音が出るか確認します。
- 音楽やマイクの音量も調整します。

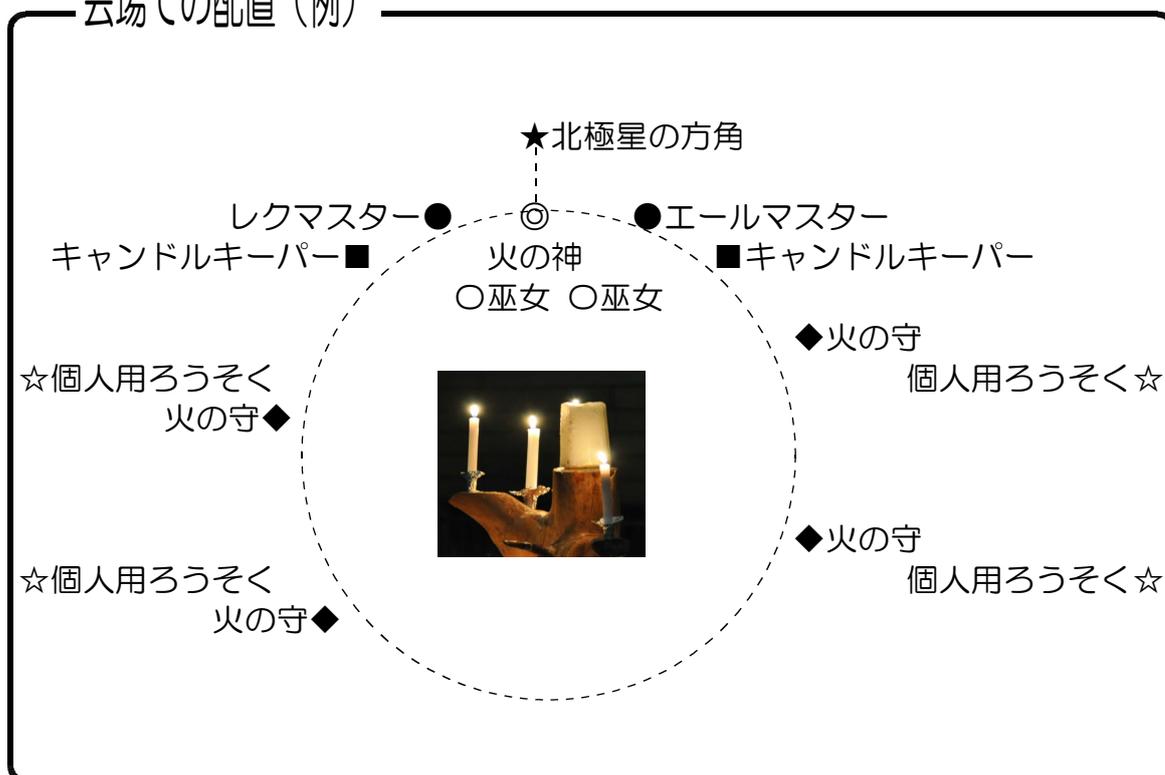
#### 照明

- LEDライトは光量の調節ができません。
- スポットライトは光量の調整が可能です。  
→ダイヤル式つまみで試してください。ろうそくに点火された後には暗くすると、幻想的な雰囲気を作り出すことができます。

#### せりふや動き

- 第1部と第3部を実際に行い、以下の最終確認をしましょう。  
→各係の立ち位置  
→火の神と火の神を誘導する火の巫女の動き  
→火の守の位置と集合位置  
→点火の際の立ち位置

### 会場での配置 (例)



## 2 役割

キャンドルのつどいには以下の役割が考えられます。

役割名	はたらき
火の神	火の神の言葉～つどい全体を見守る ※可能ならば北極星を背にした位置に座る
火の巫女	ろうそくで火を運び、火の神を導く
火の守（もり）	各グループ代表者
エールマスター	主に全体の司会・進行
レクマスター	第2部交歓の司会・進行
キャンドルキーパー	火加減を調整する係

## 3 ながれ

主に3部に分かれます。キャンドルのつどいの要素には「4S」があります。

4S	Song	ソング	歌
	Stunts	スタント	出し物
	Story	ストーリー	物語
	Showmanship	ショーマンシップ	演出

この4Sのバランスを考え、団体全員で取り組みましょう。

### (1) 集合・整列

- ① 会場とは別の場所（手前）に参加者を集合させる。  
※本館の場合…「オリエンテーションホール」または「食堂」  
別館の場合…「多目的小ホール」
- ② 全体指導は以下の通り
  - ・人員点呼
  - ・健康観察
  - ・入場は心を落ち着け穏やかに

### (2) 第1部 迎火（点火のセレモニー）

【10～20分】

- ① はじめの言葉
- ② 火の神入場
  - ・♪「遠き山に日は落ちて」を全員で歌い、火の神を迎える。
  - ・火の神は、火の巫女に先導され、会場を時計と反対回りで一周し、定位

置につく。

- ③ 火の神の言葉
- ④ 分火の儀式
  - ・各班代表の火の守はトーチを持ち、火の神の前にひざまづく
  - ・火の神→火の守
- ⑤ 点火
  - ・火の神の発声により、火の巫女と火の守が中央の特大燭台に点火する。
- ⑥ エールマスターの言葉
  - ・♪「ほしかげさやかに（またはふるさと）」を全員で歌う。

※屋内では「燃えろよ燃えろ」は歌詞の内容がふさわしくないため、避けることが望ましい。

「火の粉を巻きあげ 天まで焦がせ♪」=屋根まで焦がす？=火事を願う？
- ⑦ 第2部への準備
  - ・キャンドルキーパーが火の巫女からキャンドルを受け取って消火する。
  - ・キャンドルキーパーは、特大燭台とブルーシートを会場の隅に下げる。
  - ・火の巫女は、会場の袖部分で衣装を脱ぎ、班の仲間に合流する。

※ろうそくの火は、基本的に第3部で使用する分だけを残して消す。

ただし、人手がなく管理が難しい場合には安全のため全て消す。その場合、第3部が始まる前に参加者の見えない所で点火する。

### (3) 第2部…交歓

【40~60分】

- ① レクマスターの司会進行で、出し物を披露する。
  - ・レクリエーション（ゲーム・ダンス）
  - ・スタンツ（グループ・クラス毎に）
  - ・歌
- ② 第2部最後の出し物の前に、火の巫女は衣装を着て、ろうそくを準備し、火の神の前に移動する
- ③ キャンドルキーパーは、特大燭台とブルーシートを中央に戻す。特大燭台のろうそくは、火がついた状態にしておく。

### (4) 第3部…送火

【10~20分】

- ① エールマスターの言葉
- ② 採火の儀式
  - ・火の守（→班長）→班員の順に火をリレーする。
  - ・火の巫女は採火後、火の神の前に戻る。

※分火の際は、事前指導「ろうそくの火の受け渡し」を参考に、床にろうそくがたれないよう留意する。

  - ・火の神（営火長）の言葉
- ③ 火の神退場
  - ・♪「今日の日はさようなら」を全員で歌い、火の神を送る。
  - ・火の神は巫女に先導され、会場を一周して退場する。
- ④ 終わりの言葉
  - ・参加者が退場する際、会場出口で個人用のろうそくを回収する。
    - 使用したろうそく…回収用のバケツの中へ
    - 個人用燭台…木製のトレーの中へ



## (5) 退場・振り返り

- ① 3部の余韻が残るように静かに集合した場所まで移動する。
- ② しおりに感想を記入すると、思い出が残るとともに、集いの中で感じたことや考えたことを振り返ることができる。

## 盛り上げるポイント

★ 活動時間 … 長すぎないように留意。1時間30分程度で余韻を残す。

## 4 片付け

### ① 消火

特大燭台のろうそくの火を消火し、「ろう」が固まった後、他の用具と一緒にまとめましょう。所員が片付けます。

### ② 会場の確認と消灯

- 忘れ物のチェックをお願いします。
- 持ち込んで使用した物でごみになった物は、持ち帰ってください。
- ろうが床に落ちて付着している場合、やわらかいものさし（定規等）で削り取って、きれいにしてください。その際、床を傷つけないように気を付けてください。
- 会場の窓を施錠し、消灯をお願いします。

### ③ 用具の片付け

- 会場に準備してあった物は、会場にまとめて置いておいてください。所員が片付けます。
  - 事務室で貸し出した物は、事務室に戻してください。その際、終了と消灯完了の報告をしてください。
- ※ 床に垂れてしまった「ろう」は、安全のため削り取っていただきます。まずは所員に声を掛けてください。



<p>活動名</p>	<h1>ナイトウォーク</h1>										
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜、月明かりや懐中電灯の明かりを頼りに暗い道を歩くことで、グループの協調性と仲間意識を高めることができる。</li> <li>夜の世界の不思議さや怖さを感じながら、改めて電灯のある生活の価値を見直すことができる。</li> </ul>										
<p>諸条件</p>	<p>場 所</p> <p>スタート、ゴール …本館玄関 または集会広場</p>	<p>対 象</p> <p>小学生以上</p>									
<p>所要時間</p>	<p>コース1周…約20～60分間</p>	<p>人 数</p> <p>任意 (1グループ4～6人がお勧め)</p>									
<p>時 期</p>	<p>全シーズン</p>	<p>天 候</p> <p>雨天不可</p>									
<p>センター所員の支援</p>	<p>有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料をホームページよりダウンロード可</li> <li>本部やチェックポイントが必要</li> <li>指導者が引率する大集団でのハイキングも可</li> </ul>									
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物</p> <p>無線機（親機）×1台 無線機（子機）×14台 指導者用マグネット&amp;マップ×1 ※各上限 チェックポイントを必ず設ける ※夜は昼間と違い道がわかりにくい</p>	<p>団体（個人）が準備する物</p> <p>個人<input type="checkbox"/>登山装備（防寒具） <input type="checkbox"/>懐中電灯 団体<input type="checkbox"/>地図（ラミネート処理を推奨） <input type="checkbox"/>救急用品 <input type="checkbox"/>グループ名簿 <input type="checkbox"/>緊急連絡簿</p> <p>等</p>									
<p>活動内容 （手順）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10分</td> <td>始めの会（P2参照）</td> </tr> <tr> <td>40分～</td> <td> <input type="checkbox"/>スタート方法…グループごと  <input type="checkbox"/>指導者の立っているポイントごとに人員点呼～健康観察  <input type="checkbox"/>コース…北コース、南コース、ポインタコース                 </td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>終わりの会（P2参照）</td> </tr> </tbody> </table>			所要時間	内 容	10分	始めの会（P2参照）	40分～	<input type="checkbox"/> スタート方法…グループごと <input type="checkbox"/> 指導者の立っているポイントごとに人員点呼～健康観察 <input type="checkbox"/> コース…北コース、南コース、ポインタコース	5分	終わりの会（P2参照）
所要時間	内 容										
10分	始めの会（P2参照）										
40分～	<input type="checkbox"/> スタート方法…グループごと <input type="checkbox"/> 指導者の立っているポイントごとに人員点呼～健康観察 <input type="checkbox"/> コース…北コース、南コース、ポインタコース										
5分	終わりの会（P2参照）										
<p>想定される リスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>天候の悪化による事故（落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等）</li> <li><input type="checkbox"/>疲労による事故（熱中症含む）</li> <li><input type="checkbox"/>山の環境による事故（転倒、転落、落石、浮き石を踏んだ捻挫、はち刺され等）</li> <li><input type="checkbox"/>人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）</li> </ul>										

# ナイトウォークについて

ここがオススメ！

- ・昼間接することのできない自然を、新たに見つけることができます。
- ・集団作りやリーダーの養成に適しており、集団内の協力やまとまりを高められます。

## 1 事前の準備

(1) 下見を通して、以下を確認します。

確認項目	決定事項
①指導者の人数	本部（スタート・ゴール）×（ ）人 ポイントに立つ指導者×（ ）人
②グループの人数構成	（ ）人 ※学級単位でも可
③活動時間	（ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分 （ ）分間 スタートの間隔（3・5・ ）分間

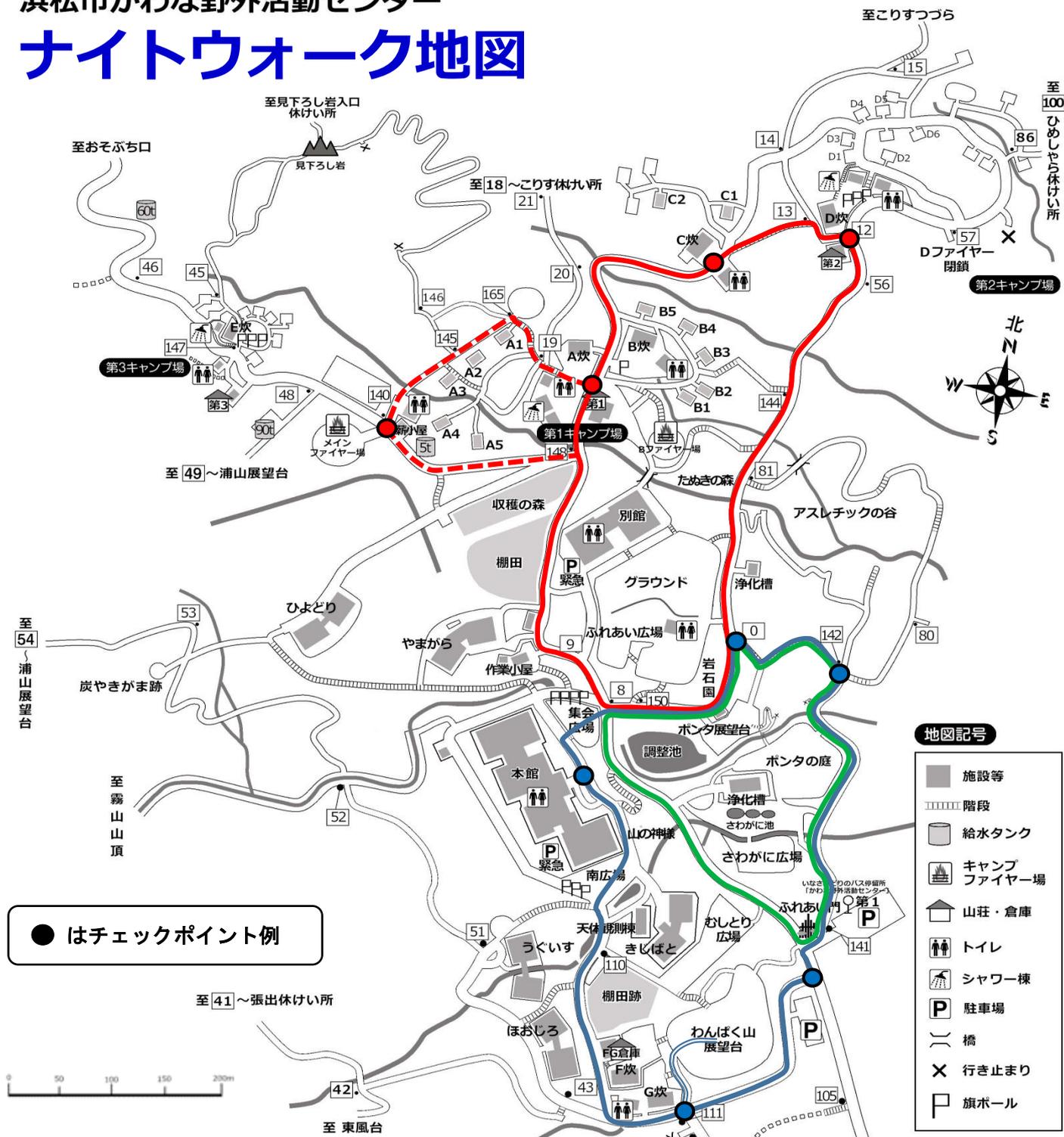
- (2) 各グループにラミネート処理された地図を配付します。  
(3) 実施する当日、追加するポイントがある場合、設置します。  
(4) 留意点…①独自でコースを考える場合、必ず当センターに相談してください。  
②昼間散策を兼ね、参加者にコースを歩かせるのも有効です。

## 2 やり方の説明（例）

- (1) 「地図にある矢印に従って、“一方通行”で歩きましょう。」  
「逆ルートは、急な階段や坂道を下ることになり、危険です。」
- (2) 「コースには、必ず反射テープが巻かれています。」  
「懐中電灯で探しながらたどって進みましょう。」
- (3) 「スタートは集会広場です。」  
「ゴールは（ ）です。」  
「スタートは（3・5・ ）分間隔です。」  
「活動中、グループ同士が重なってしまった場合、  
チェックポイントで時間差を付けてスタートすることもあります。」
- (4) 「絶対に単独行動をせず、グループでかたまって歩きましょう。」  
「道の隅を歩いたり、横道に入ったりしないでください。」  
「道に迷った場合、むやみに進まず、チェックを受けた指導者の地点まで戻りましょう。」
- (5) 「時には立ち止まって、周りの様子を眺めたり、耳を澄ましたりして、夜の自然を観察するのも興味深いです！」



# ナイトウォーク地図



- A 北コース ABCD炊飯棟を回る30分コース
- ..... B 北コース(ロング) ABCD炊飯棟とメインファイヤー場を回る40分コース
- C ポンタコース ふれあい門を通り、ポンタの庭をぐるっと回る20分コース
- D 南コース わんぱく山展望台とポンタの庭を回る30分コース
- E 南北フルコース 南北を合わせた一番ロングの60分コース

※本館前(または集会広場・南広場)をスタート・ゴールとします。  
 ※原則、全てのコース反時計回りとし、逆回りや兩回りはしません。  
 ※コースの時間は、グループ単位で活動した際のおよその目安です。  
 ※D・Eコースは、天体観望など南広場の利用がない場合に実施できます。  
 ※地図データは各コースごとにダウンロードできます。

<p>活動名</p>	<h1>天体観望</h1>									
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>星座の見方を夜空を見上げながら解説を聞くことで、星座への興味関心を高めることができる。</li> <li>望遠鏡で天体を観望することで、天体の美しさに感動する情操を養うことができる。</li> </ul> 									
<p>諸条件</p>	<p>場 所 南広場・天体観測棟</p>	<p>対 象 すべて</p>								
	<p>所要時間 30～120分間</p>	<p>人 数 制限なし（要相談）</p>								
	<p>時 期 全シーズン</p>	<p>天 候 雨天曇天は天文教室のみ</p>								
	<p>センター所員の支援 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無</p>	<p>その他</p>								
<p>準備物</p>	<p>センターが貸し出す物 なし</p>	<p>団体（個人）が準備する物 個人口防寒具 □懐中電灯</p>								
<p>活動内容（手順）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所要時間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5～10分</td> <td>                     始めの会                      ①あいさつ                      ②季節の星空紹介                      ③望遠鏡の見方・注意事項                 </td> </tr> <tr> <td>20～100分</td> <td>                     天体観望（①～②の一部、または全てを選択）                      ①大望遠鏡（40cm反射望遠鏡）での観望                      ②小望遠鏡（8cm屈折望遠鏡）での観望                 </td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>終わりの会（あいさつ）</td> </tr> </tbody> </table>		所要時間	内 容	5～10分	始めの会 ①あいさつ ②季節の星空紹介 ③望遠鏡の見方・注意事項	20～100分	天体観望（①～②の一部、または全てを選択） ①大望遠鏡（40cm反射望遠鏡）での観望 ②小望遠鏡（8cm屈折望遠鏡）での観望	5分	終わりの会（あいさつ）
所要時間	内 容									
5～10分	始めの会 ①あいさつ ②季節の星空紹介 ③望遠鏡の見方・注意事項									
20～100分	天体観望（①～②の一部、または全てを選択） ①大望遠鏡（40cm反射望遠鏡）での観望 ②小望遠鏡（8cm屈折望遠鏡）での観望									
5分	終わりの会（あいさつ）									
<p>想定されるリスク</p>	<p> <input type="checkbox"/>天候の悪化による事故（落雷、濃霧による迷子、雨による転倒等）  <input type="checkbox"/>暗闇による迷子  <input type="checkbox"/>大望遠鏡に登る階段での事故（踏み外しによる転倒等）  <input type="checkbox"/>人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）                 </p>									

活動名	<b>天文教室</b>	
概要と期待できる教育的効果	季節の星座の見方やその特徴を、プレゼンテーションを通して聞くことで、星座への興味関心を高めることができる。	
諸条件	場 所 食堂	対 象 すべて
	所要時間 20～30分間	人 数 制限なし（要相談）
	時 期 全シーズン	天 候 制限なし
	センター所員の支援 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	その他
準備物	センターが貸し出す物	
	団体（個人）が準備する物	
活動内容 （手順）	所要時間 内 容	
	20～30分 ①あいさつ～所員紹介 ②プレゼンテーション ③あいさつ	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（ふざけての事故等）	



# 天体観望・天文教室について

## 1 天体観望の準備

(1) 1グループ約40人までを基準に対応します。(事前打合せで要相談)

パターン①…人数が40人程度の場合、順次天体観測棟に入り実施。

例：全員で小望遠鏡→全員で大望遠鏡

パターン②…人数が40人以上の場合、40人までのグループに編成し、大小2種類の望遠鏡での観望と、その他の活動のローテーション。

例：小望遠鏡→大望遠鏡→夜散歩の3ローテーション

※安全確保ができる指導者の人数を考慮してください。

(2) 観望時間の見通し…「各望遠鏡は1人30秒」で概算してください。

## 2 事前指導

以下の内容を指導してください。

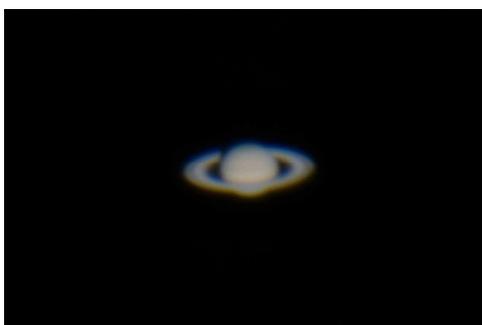
- |                                       |
|---------------------------------------|
| ①懐中電灯をむやみにつけません。…暗闇に慣れた目がリセットされてしまうため |
| ②望遠鏡にはさわりません。…観望対象物がずれないようにするため       |

## 3 観望できる衛星・惑星・星雲・星団

月、金星、木星、土星、アンドロメダ銀河(M31)、オリオン大星雲(M42)、各種星団などを観望できます。季節により、見られる天体は変わります。



〈月〉



〈土星〉



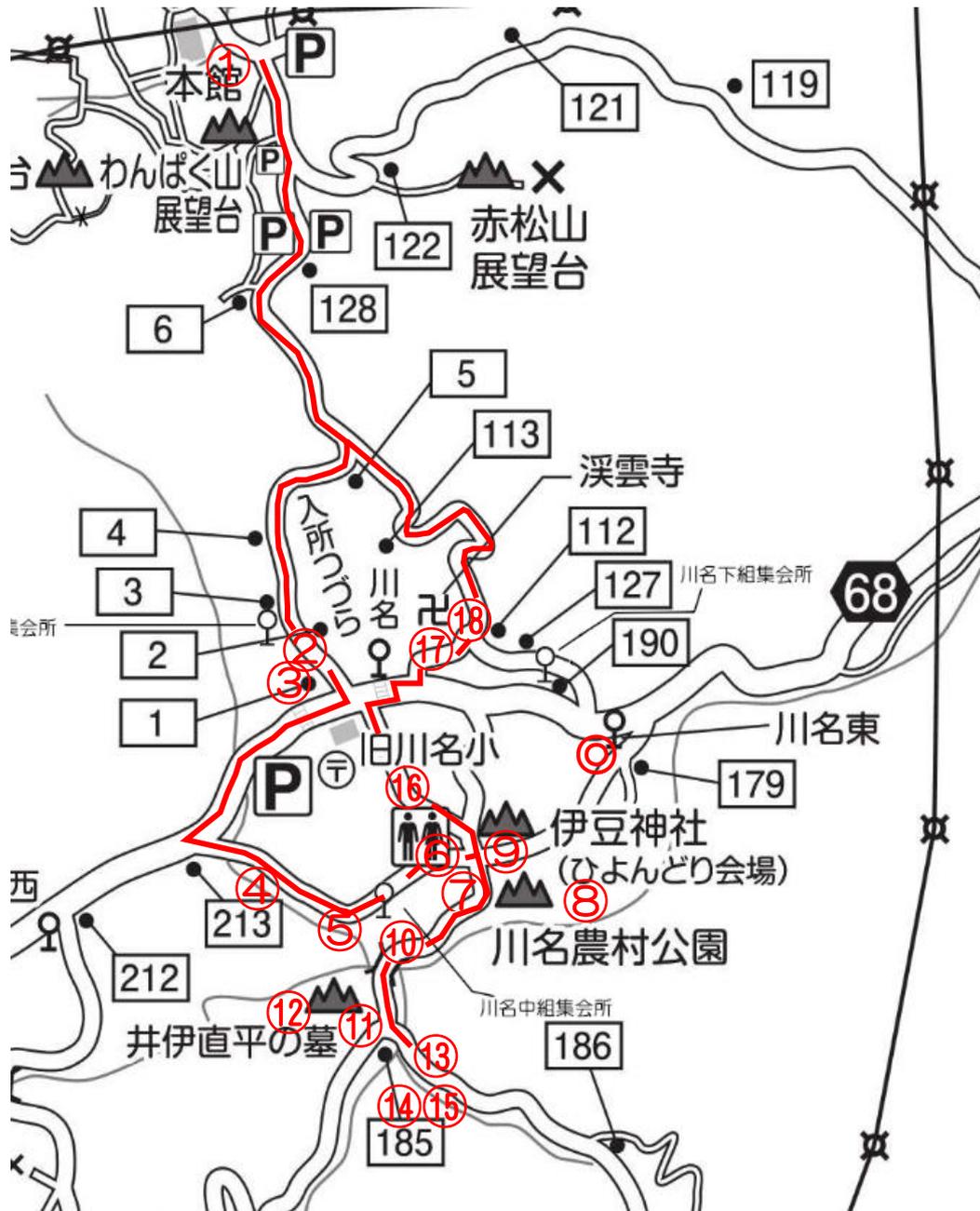
〈40cm 反射望遠鏡〉

## 4 曇・雨天時の天体観望

曇・雨天時は天体観望ができません。そのため、天文教室を食堂で実施することができます。(事前打ち合わせで要相談)

<p>活動名</p>	<p><b>川名地区史跡めぐりウォーク</b></p>
<p>概要と期待できる教育的効果</p>	<p>川名地区に古くから残されている寺社や墓所などの史跡を巡ることを通して、川名地区への理解と愛着を深めることができる。また、寺社や伝統芸能、井伊家の歴史等への興味・関心を広げることができる。</p>

1 史跡めぐりコース



- ※①～⑱以外にも、川名地区には多数の史跡があります。興味のある方は所員までお問い合わせください。
- ※上記の地図と次ページの写真資料はHPからダウンロードできます。各史跡の詳細資料など必要の方は、所員までお問い合わせください。
- ※上記史跡に加えて滝沢展望台に行くコースが、「ウォークラリー（5h 滝沢コース）」に設定されています。そちらもご覧ください。

2 史跡写真 (①～⑱)



①山の神 (上組)



②道の小さな神様



③道祖神



④西沢の大きな岩



⑤西之輪龍燈様



⑥おみたらしの井戸



⑦御神田



⑧呪文山 (経王塔)



⑨伊豆神社エリア

←左から伊豆神社、忠魂碑、  
福満寺薬師堂  
子ども地藏  
鳥居横 伊豆神社常夜灯



←福満寺薬師堂  
で行われる「国指  
定無形民俗文化  
財 ひよんどり」  
の様子



⑩鎧橋



⑪古くから残る石段



⑫井伊直平の墓



⑬若宮三社神社とモロー様



⑭六所神社



⑮役行者



⑯平秋葉龍燈様



⑰上野花次郎さんの碑



⑱溪雲寺



⑱-1 観音堂

←本堂周辺に  
⑱-1 観音堂  
-2 念仏塔  
-3 お地藏様  
-4 庚申塔  
-5 経王塔



◎東福寺観音堂 跡

(H30 取り壊し)

参考) 『伝統芸能の里 史跡ガイドブック』 NPO法人かわなの里 ほぐせんぼ 他

## 「活動プログラムガイドブック」

編集 浜松市かわな野外活動センター  
発行 浜松市かわな野外活動センター  
〒431-2202  
静岡県浜松市浜名区引佐町川名455番地の5  
TEL (053) 544-0219  
FAX (053) 544-0210  
E-MAIL kawana@hamamatsu-sports.or.jp

かわな野外活動センター

検索

